「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
実績の検証	上位目標が達成される見込みはあるか	プロジェクト対象地域(14 村落)の住民が，スール・フツーロ財団から指導を受けた技術を実践しているか。	関係者（スール・フツーロ財団，パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員，および対象地域の住民，以下同様）からの事情聴取	スール・フツーロ財団，パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員，および対象地域の住民	関係資料、質問票、インタビュー
		対象地域の森林面積が増加しているか。	関係者からの事情聴取、報告書類		
	プロジェクト目標は達成されたか	スール・フツーロ財団，およびパードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員の流域管理技術は向上したか。	関係者からの事情聴取、報告書類	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域の住民	関係資料、質問票、インタビュー
		スール・フツーロ財団，およびパードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員のプロジェクト運営能力は向上したか。	実施機関の報告書、関係者からの事情調聴取		
		実施にあたって C/P 機関側の事業への関与の程度はどのようであったか。	関係者からの事情調聴取		
	成果は計画通り産み出されたか	対象村落の自然環境や社会経済状況に関する報告書が作成されたか。	関係者からの事情調聴取、報告書	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者	関係資料、質問票、インタビュー
		アグロフォレストリー年次計画および簡易感慨農業年次計画が策定され，アグロフォレストリーおよび簡易灌漑農業が対象村落で導入されたか。	関係者からの事情調聴取、報告書のデータ（森林面積，焼畑農家の戸数，アグロフォレストリーの面積）、2 種の年次計画書の確認，アグロフォレストリーマニュアル改訂版の確認	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	現地踏査（アグロフォレストリーおよび簡易灌漑農業の確認）、関係資料、質問票、インタビュー

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		対象村落のニーズに基づいた植林計画に沿い，植林計画に沿った活動および評価ができるか。	関係者からの事情調聴取、報告書データ（造林面積，生産された苗木の数），村落毎の植林計画の確認，苗木生産計画の確認，植林地管理簿とその更新状態の確認	対象地域の住民 プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域の住民	現地踏査（植林地および育苗施設の確認）、関係資料、質問票、インタビュー
		対象地域において森林火災の予防・消化体制が強化されたか。	関係者からの事情調聴取、報告書データ（住民による消防団の数，森林火災発生件数）	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域の住民	現地踏査（住民による消防団の確認）、関係資料、質問票、インタビュー
		C/P に技術移転がなされたか。	関係者からの事情調聴取、報告書データ	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		活動に当たって、適正な技術指導がなされたか。			
		C/P の技術・管理能力は向上したか。	関係者からの事情調聴取		
	投入は計画通り実施されたか	専門家の派遣	派遣時期、人数、担当分野	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		日本側資金投入の実績	報告書、関係機関からの事情調聴取		
		日本側資機材投入の実績	提供機材リスト、現状機材と提供リストとの整合、作動の確認		
		C/P の研修派遣実績	派遣の実績、人数、担当分野，派遣者のレベル		
		JCCの設置	委員会の活動状況		
		C/P の配置（スールフツーロ財団および環境・天然資源省）	人数、延べ人数，内訳		
		サポートスタッフ（運営スタッフ，秘書、ドライバー）の配置			
		C/P 人件費の負担	コスト，関係機関からの事情調聴取		

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		プロジェクト活動に必要な資機材や施設の提供	必要機材リスト、現状確認、関係機関からの事情調聴取		現地踏査、資機材確認、関係資料、質問票、インタビュー
		その他ローカルコストの負担	コスト，関係機関からの事情調聴取		関係資料、質問票、インタビュー
実施プロセスの検証	プロジェクト活動の準備	活動は計画通りに実施されたか。	活動計画の確認、関係者からの事情調聴取	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 JICA 現地事務所 JICA 本部担当	関係資料、質問票、インタビュー
		技術移転の方法は適正だったか。	関係者からの事情調聴取		
		プロジェクトのマネジメント体制（モニタリングの仕組み、意思決定過程、プロジェクト専門家、C/P、JICA 現地事務所，JICA 本部担当，プロジェクト内のコミュニケーションの仕組みなど）に問題はなかったか。	関係者からの事情調聴取、マネジメント体制の確認		
		実施機関やカウンターパートのプロジェクトに対する認識は高いか。	関係者からの事情調聴取		
		適切なカウンターパートが配置されたか。			
		ターゲット・グループや関係組織のプロジェクトへの参加度やプロジェクトに対する認識は高いか。			
		プロジェクトの実施過程で生じている問題や、効果発現に影響を与えた要因は何か。			
	対象村落の自然環境や社会経済状況に関する情報が整理されたか	予定の時期にプロジェクト対象村の自然，社会状況を把握し，分析したか。	関係者からの事情調聴取 活動計画表	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		予定の時期に流域管理に関する住民の実践，問題，イニシアチブが整理されたか。			
		予定の時期に対象地域において導入可能なアグロフォレストリーが分析されたか	関係者からの事情調聴取 活動計画表	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技	関係資料、質問票、インタビュー

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
	森林保全全般に関する意識の向上を目指して，プロジェクトにおいて作成されるアグロフォレストリー年次計画および簡易灌漑農業年次改革に沿って，アグロフォレストリーおよび簡易灌漑農業の適切な実行がスール・フツーロ財団および環境天然資源省の技術者により導入されたか	予定の時期にアグロフォレストリーの活動対象者の選定および対象地が設定されたか。		術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	
		予定の時期にアグロフォレストリーの年間活動計画が作成されたか。			
		予定の時期にアグロフォレストリーの技術指導が行われたか。			
		予定の時期に中央育苗畑において果樹名易の生産が行われたか。			
		予定の時期にアグロフォレストリーの技術マニュアルが改訂されたか。			
		予定の時期に簡易灌漑農業施設のポテンシャルの高い地区が把握されたか。			
		予定の時期に簡易灌漑農業導入と森林保全に対する合意を形成し，地区毎に簡易灌漑農業の実施グループを設立したか。			
		予定の時期に住民の意向を踏まえた簡易灌漑農業の年間活動計画が作成されたか。			
		予定の時期に簡易灌漑農業の技術指導が行われたか。			
		予定の時期に簡易灌漑農業の技術マニュアルが作成されたか。			
		予定の時期にアグロフォレストリーおよび簡易灌漑農業の導入による森林保全へのインパクトが分析されたか。			
	スール・フツーロ財団および環境天然資源省の技術者	予定の時期に村落ごとの造林年次計画が作成されたか。	関係者からの事情調聴取 活動計画表	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団	関係資料、質問票、インタビュー

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
	が，対象住民のニーズを把握し，各村落ごとの植林計画に沿った活動，評価ができるようになったか	予定の時期に造林年次計画に沿って，苗木生産計画を作成し，優良な苗木を生産配布するシステムが構築されたか。		環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	
		造林技術の指導が対象住民に行われたか。			
		予定の時期に造林地のモニタリングを実施し，GIS/GPS を活用した像リンチの情報管理が行われたか。			
		予定の時期に森林保全に関する啓発。教育活動が実施されたか。			
	対象地域において森林火災の予防・消化耐性が強化されたか	予定の時期に対象地域における森林火災の発生頻度，原因，消化体制が分析されたか。	関係者からの事情調聴取 活動計画表	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		予定の時期に住民による消防団が結成され，パドレス・ラス・カサス森林管理事務所との連携による消化体制が強化されたか		プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 現地住民	
	プロジェクト活動にあたっての作業状況	ドミニカ共和国側と日本側の協議の状況はどのようであったか。	関係者からの事情調聴取	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		活動に当たって、C/P 機関側の協力は十分得られたか。			
		活動に当たっての進捗状況はどのようであったか。			
妥当性	必要性	プロジェクトの活動内容は対象地域・社会のニーズに合致していたか。	国家開発計画、植林面積指標	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者	関係資料、質問票、インタビュー
		ターゲットグループのニーズに合致していたか	関係者からの事情調聴取		現地踏査，関係資料、質問票、インタビュー
		ターゲットグループの設定は妥当か			

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		対象地域において、サバナ・イェグア・ダム上流域の森林状況はどのようになっているか。		パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域住民	
		現行の植林計画がある場合、一般にその実施にどのような問題があるか。			関係資料、質問票、インタビュー
	優先度	相手国の環境・開発政策との整合性はあるか。	開発計画、環境ガイドライン等	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域住民	関係資料、質問票、インタビュー
		ドミニカ共和国の山間地荒廃による自然災害及びそれに起因する住民生活の現状はどのようになっているか。	開発計画、環境ガイドライン等 関係者からの事情調聴取		
		ドミニカ共和国政府として植林に対する問題意識があり対策指針を持っているか。	国家開発計画		
		荒廃山間地対策の現状と今後の方針はどうなっているか。	国家開発計画 関係者からの事情調聴取		
		日本の援助政策との整合性はあるか。	関係者からの事情調聴取、関係資料		
	方法の適切性	プロジェクトはドミニカ共和国の環境分野の開発課題に対応する戦略として適切だったか。	関係者からの事情調聴取	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域住民	関係資料、質問票、インタビュー
		ターゲット・グループへの波及性はあったか。			
		他の代替技術の適用を検討したか。	関係者からの事情調聴取、報告書		
		日本の技術の比較優位性はあったか。（日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験を生かせるかなど）	援助実績、関係者からの事情聴取		
有効性	成果の達成状況	プロジェクトの成果は、各投入の結果どの程度達成されたか。	各成果の指標	プロジェクト専門家	関係資料、質問票、インタビュー
		C/P の技術レベルは向上したか。	関係者からの事情聴取、		

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		供与された機材は活用されているか。	機材の使用状況の確認	スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	現地踏査、機材確認、関係資料、質問票、質問票、インタビュー
		C/P の日本への招聘は効果的に行なわれたか	関係者への意見聴取、報告書		関係資料、質問票、質問票、インタビュー
		日本研修受講生・修了者の訓練に対し満足度はどのようであったか。	研修者への聞取り		質問票、質問票、インタビュー
	プロジェクト目標の達成状況	C/P 機関が対象地域の持続的流域管理を進める方針を継続しているか。	関係者への意見聴取、報告書	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		C/P 機関は対象地域の持続的流域管理を進めるための協力関係を継続しているか。			
		C/P の配置転換や離職による影響はあったか。			
		対象地域の持続的流域管理を進めるための予算が確保されているか。			
	プロジェクト目標に至る前提条件、外部条件の影響	天然環境資源省がスール・フツーロ財団にプロジェクトの実施を委託する契約を継続するための阻害要因があったか。	関係者への意見聴取、報告書	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、質問票、インタビュー
		天然環境資源省がスール・フツーロ財団にプロジェクトの実施を委託する契約を継続するための貢献要員があったか。			
		C/P が継続してプロジェクトに従事するに当たっての阻害要因はあったか。			関係資料、質問票、質問票、インタビュー
		C/P が継続してプロジェクトに従事するに当たっての貢献要因はあったか。			
		プロジェクト活動実施にあたって，気象現象に基づく阻害要因があったか。			

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		プロジェクト活動実施にあたって，気象現象に基づく貢献要因があったか。			
効率性	達成された成果からみた投入の質、量、タイミングの適切性	供与機材の種類、量、設置時期、調達方法は適切か。	関係者への意見聴取、機材利用状況	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、質問票、インタビュー
		専門家の派遣人数、専門分野、派遣時期、期間、能力、職業経験は適切だったか。	関係者への意見聴取		
		研修招聘の人数、分野、研修内容、研修期間、受入れ時期は適切か。	関係者への意見聴取、人材受入れ状況		
		C/P の数・指導期間・基礎能力・専門分野は適切だったか。	関係者への意見聴取		
		C/P と専門化とのコミュニケーションはとれたか。			
		建物・施設等に関してプロジェクト実施に不都合な点はなかったか。			
		プロジェクトの予算は適正規模か。			
		活動から成果に至るまでの外部条件は現時点においても正しいか。			
		活動から成果に至るまでで外部条件の影響はあったか。			
		類似の技術指導や荒廃山間地回復事業を行う団体がドミニカ共和国内にあるか。もしあれば、その団体技術指導内容レベルは。			
		本件の投入実績金額は効率的に活用できた規模か。	関係者への意見聴取、実施団体資料		
		プロジェクト目標の達成度は投入コストに見合ったものであるか。（より低いコストで代替手段はなかったか。	投入コストと成果・目標達成		

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
インパクト	プロジェクト目標の結果としての上位目標達成の見込み	プロジェクト終了後もスール・フツーロ財団および環境。自然資源省がさらに継続・拡大して地域住民に対象地域の持続的森林管理技術の指導を続けるか。	関係者への事情聴取	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		上位目標の達成により相手国の環境計画や開発計画へのインパクトは見込めるか。	国家開発計画への影響		
		対象地域の荒廃山間地は改善の方向に向かっているか。	森林面積指標、関係者からの聴取		
		上位目標の促進阻害要因はあるか。	関係者への事情聴取		関係資料、質問票、インタビュー
		政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響はあるか。			
		技術面での変革による影響はあるか。			
		その他の負の影響はあるか。			
	波及効果	プロジェクトの活動が他の活動や組織に影響を与えたか。		プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域の住民	
	正負のインパクト	上位目標以外の正負のインパクトは生じたか。		プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 対象地域の住民	
		プロジェクト活動によって、周辺環境への影響は生じたか。			
		プロジェクト活動によって、周辺住民への影響は生じたか。			
		その他、プロジェクトの外部の諸事情に何らかの影響を与えたか。			

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
自立発展性	政治・制度的側面	ドミニカ共和国政府内において本プロジェクトの位置付けは明確か。	関係機関による支援の継続性、関係機関と NGO，あるいは現地住民との連携状況、対象地域での役割	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
		森林保全に関する関連規則、法制度は整備されているか，あるいは整備される予定か。	関係者からの事情聴取		
	財務的側面	当該国側の予算措置は十分であり、経常経費を含む予算の確保は問題ないか。	財務状況、関係者の意見	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者	
		今後予算が増える可能性はあるか。予算確保のための対策は十分か。	関係者の意見		
	組織的側面	協力終了後も効果を上げていくための活動を実施する組織能力はあるか。(C/P の継続配置・意思決定プロセスなど)	各部門の機能、スタッフの配置・定着状況、モニタリング体制の定着状況、関係者の意見	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	関係資料、質問票、インタビュー
	技術的側面	資機材の維持管理は適切に行われているか。	保守管理状況、関係者の意見	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員	現地踏査、機材確認、関係資料、質問票、インタビュー
		C/P 機関側に技術普及のメカニズムがあるか。	実施機関内での相互研修、人材育成システムの有無。関係者からの事情聴取		関係資料、質問票、インタビュー
		C/P の技術・事業運営管理レベルは、プロジェクト終了後も発展していくか。	関係者の意見		
		国内外を問わず他の機関との流域管理技術協力を行っているか。	関係者からの事情聴取		
		プロジェクト終了後の C/P(環境天然資源省・スール・フツーロ財団)の離職率はどうか。	専門技術者の離職率		
		他機関からの専門技術者の転入はあるか。	転入率		

「サバナ・イェグア・ダム上流域の持続的流域管理計画」　評価グリッド

5 項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
	プロジェクトの自立発展性に影響を与える要因	自立発展性の促進あるいは阻害要因はあるか。	関係機関資料 関係者からの事情聴取	プロジェクト専門家 スール・フツーロ財団 環境天然資源省の担当者・技術者 パードレ・ラス・カサス森林管理事務所の関係職員 現地住民	関係資料、質問票、インタビュー

CD シート

2008 年 10 月

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
1. 組織の能力	**プロジェクト運営のための組織能力が備わっている。**					
1.1 リーダーシップ			○	組織を運営するためのリーダーシップが発揮されている（業務の運営管理、業務の改善、職場環境の整備、人材育成、対外関係など）。	**心構え：A / B / C** 部下の指導能力が向上し、業務の改善への取組みがみられる。	・スール・フツーロ財団（プロジェクト･コーディネーター以下、P/C） ・OJT
1.2 意思決定メカニズム			○	公正で明確な意思決定メカニズムが確立されている。	**心構え：A / B / C** P/C のリーダーシップの下、チームのメンバーも参加し、意思決定メカニズムは機能している。	・スール・フツーロ財団（役員、P/C） ・会議、意見交換、OJT
1.3 コミュニケーション			○	良好なコミュニケーションシステムが確立されている。	**心構え：A / B / C** チームのメンバーのほとんどがプロジェクト以外の業務も行っており、多忙であるが、定例ミーティング等で、全員で情報共有、問題点の検討、解決方法の議論の場として活用できるよう改善されている。	・スール・フツーロ財団（役員） ・会議、意見交換、OJT
1.4 貢献意欲			○	組織の構成員は貢献意欲を持って業務を行っている。	**心構え：A / B / C** 全員が貢献意欲を持っている。業務を改善しようとするイニシアティブを発揮すれば更に向上する。	・スール・フツーロ財団（C/P 全員） ・会議、意見交換、OJT
1.5 プロジェクトの運営		○	○	プロジェクト運営の適切なメカニズムが確立されている。	**知識；A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** プロジェクトの実施を通じて運営能力は全体的に向上している。効果的なモニタリングや住民実施事業の監理のシステムを確立すれば更に向上する。	・スール・フツーロ財団（C/P 全員） ・会議、意見交換、OJT
1.6 組織の体制		○	○	プロジェクト実施のための効率的かつ十分な組織体制が確立されている。	**心構え：A / B / C** プロジェクト活動実施のための運営能力は高まった。農業指導分野専門の C/P が存在すれば、組織体制はより強固となる。	・スール・フツーロ財団（役員、P/C） ・会議、意見交換、OJT
2. 参加型流域管理	**参加型流域管理プロジェクトを計画し、実施することができる。**					
2.1 参加型流域管理のプロセス	○	○	○	効果的な住民参加型流域管理プロジェクトのプロセスを計画することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** 参加型流域管理の高い能力（知識、技能、心構え）を持っており、本プロジェクトにおいて更に向上した。	・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P） ・意見交換、ＯＪＴ、OJT

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
2.2 参加型ワークショップの実施				計画したプロセスに沿って住民参加型ワークショップなどを実施することができる。		
2.2.1 ワークショップの計画	○			住民のニーズやレベルに合ったワークショップを計画できる。	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**；**A** / **B** / **C** ３年間のプロジェクトでニーズやレベルにあったワークショップを計画する能力を身につけた。	・スール・フツーロ財団（社会開発 C/P） ・OJT
2.2.2 ファシリテーション能力	○	○	○	ワークショップを行うためのファシリテーション能力を備えている。（住民との接触、ワークショップツールの活用、ワークショップの運営など）	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**：**A** / **B** / **C** **心構え**：**A** / **B** / **C** ファシリテータとしての高い能力を持っている。	・スール・フツーロ財団（社会開発 C/P） ・OJT
2.2.3 情報の整理	○	○	○	ワークショップの結果を正確かつわかりやすく整理し、レポートを作成できる。	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**：**A** / **B** / **C** **心構え**：**A** / **B** / **C** ファシリテートの能力は高いが、結果の整理能力の向上が望まれる実践することで能力を向上させることができる。	・スール・フツーロ財団（社会開発 C/P） ・レポートの作成、OJT
2.3 参加型活動の支援	○	○	○	参加型ワークショップなどで計画した住民活動を支援し、住民の主体的参加と問題解決能力の向上を促すことができる。	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**：**A** / **B** / **C** **心構え**：**A** / **B** / **C** 住民支援への意欲は強く、住民自身が問題を解決するよう働きかける能力も高い。	・スール・フツーロ財団（社会開発 C/P） ・意見交換、OJT
2.4 灌漑農業グループへの支援				プロジェクトにおいて結成された灌漑農業グループ（組合）の発展のプロセスに支援をしていける。		
2.4.1 合意形成の支援	○	○	○	灌漑農業組合の合意形成プロセスを支援することができる。	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**：**A** / **B** / **C** **心構え**：**A** / **B** / **C** 本プロジェクトの第１年次の経験から、能力は十分向上した。第 2、3 年次はこの経験を活用している。	・スール・フツーロ財団 （・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P） ・意見交換、OJT
2.4.2 灌漑農業組合の規約の策定を支援することができる。	○	○	○	灌漑農業組合に対して規約策定を支援することができる。	**知識**：**A** / **B** / **C** **技能**：**A** / **B** / **C** **心構え**：**A** / **B** / **C** 村落住民は既に規約を策定しており、1，2 年目の経	・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P） ・意見交換、OJT

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
					験を活用した。ファシリテート能力は高く、この経験で更なる能力の向上が期待できる。	
2.4.3 組織強化を支援することができる。	○	○	○	組合の法律上の正式な結成、組織体制、役員・組合員の役割、リーダーシップ、コミュニケーション、意思決定、組織運営などについての組織強化を支援することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** スール・フツーロ財団は、組織強化の多くの経験を有している。本プロジェクトで、灌漑農業組合の組織強化は始めての経験であったが、十分能力を発揮した。今後更に経験を積む中で更に能力の向上が期待される。	・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P） ・意見交換、OJT
3. 植林、森林管理	**土地利用ポテンシャルに基づき適切な森林管理や森林造成を計画し、実施できる。**					
3.1 植林計画の作成				森林造成計画に基づき植林箇所の自然条件や社会ニーズに合った植林計画を作成することができる。		
3.1.1 樹種の選定	○	○	○	立地条件（気象、土壌等）や社会ニーズ（成長量や用途など）に合った樹種を選択できる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 技術に裏付けられた樹種選定の技術はあり、供給体制を整えれば、社会的ニーズを配慮した樹種選択も可能である。	・スール・フツーロ財団（植林 C/P） ・意見交換、OJT
3.1.2 植林に関する事業計画	○	○		植林地の選定、樹種選定、種子調達、苗木生産、植栽、保育などの一連の活動を有機的に連携して考えることができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 能力を有している。	・スール・フツーロ財団（植林 C/P） ・意見交換、OJT
3.2 苗木生産計画の作成	○	○		植林計画に基づき苗木の需要を把握し、苗木生産計画を作成することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 土地所有が民有であるため、植林計画が立てにくい。現地の実態を正確に把握する能力が求められる。植林計画に基づき苗木を生産できる能力は十分有しているので、苗木生産計画の作成は容易にできる。	・スール・フツーロ財団（植林 C/P） ・意見交換、OJT
3.3 植林の実施	○	○		植林計画に基づき植林事業を管理することができる。（苗木の山出し、労務、資機材等の管理）	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 住民造林の支援能力は十分に持っている。	・スール・フツーロ財団（植林 C/P） ・意見交換、OJT

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
3.4 保育計画の作成・実施	○	○		森林管理の目的に基づき植林地を管理するための育林計画を作成し、実施することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 保育計画は作成されていないが、能力は十分に持っている。	・スール・フツーロ財団（植林 C/P） ・意見交換、OJT
4. 森林火災	**森林火災に対する啓発活動及び森林火災消防団の組織化・訓練を行うことが出来る。**					
4.1 森林消防団の育成	○	○	○	住民による森林消防団を組織し育成することが出来る。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** プロジェクト第一年次の経験で能力を備えた。	・パードレ・ラス・カサス森林管理署 ・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P、植林 C/P） ・OJT
4.2 消防団の訓練	○	○	○	森林消防団の訓練を実施できる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** プロジェクト第一年次の経験で能力を備えた。	・パードレ・ラス・カサス森林管理署 ・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P、植林 C/P） ・OJT
4.3 森林火災防止の啓発	○	○	○	森林火災防止の啓発材料を作成し、効果的に使用できる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** 多様な啓発材料を作成し、使用している。	・パードレ・ラス・カサス森林管理署 ・スール・フツーロ財団（P/C、社会開発 C/P、植林 C/P） ・OJT
5. 簡易灌漑農業の導入	**簡易灌漑農業ポテンシャルの高い箇所を特定し、簡易灌漑施設の整備、農作物の生産の指導を行うことができる。**					
5.1 簡易灌漑農業の導入ポテンシャルの高い地区の調査･特定	○	○		水源の状況、地形、社会経済条件などに基づき、簡易灌漑農業の導入ポテンシャルの高い地区を調査し、特定することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 第 1 年次に技術移転がなされたが、C/P の交代があり、生かされなかった。しかし、2 年目に技術者が補充され、十分な知識、技能を身につけた。	・スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・OJT
5.2 基本方針の作成	○	○	○	技術的事項、社会的コンセンサス、インセンティブ・グループの結成、参加者の義務・負担事項、リボルビングファンドの適用、維持管理、OJT の実施などからなる基本方針を作成することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** 社会的合意の形成、グループの結成に係る知識は持っていたが、技術的能力も求められ、技術的能力向上が望まれた。しかし、2 年次に C/P も補充され技術移転も生かされてた。今後更に経験を積む中で更に能力の向上が期待される。	・スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・OJT

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
5.3 水理計算、設計	○			水理計算、設計ができる。	**知識：A / B / C** **技能；A / B / C** 第 1 年次に技術移転がなされたが、C/P の交代があり、生かされなかった。2 年次に C/P が補充され、生かされてきた。しかし、この能力はこの分野専門の技術者が必要である。	・スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・技術指導、OJT
5.4 簡易灌漑施設の施設・施工	○	○		簡易灌漑農業の基本的な施設計画を作成し、施工することができる（または計画作成及び施工を監理することができる）。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** C/P の交代があり第 1 年次の経験が生かされなかったが、2 年次に既に当該業務を行う能力を備えている C/P が補充された。資材管理、モニタリング実施への取組みへの改善が期待される。	・スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・OJT
5.5 簡易灌漑施設のオペレーション、維持管理	○	○		簡易灌漑施設のオペレーション、維持管理を指導することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 補充された C/P には既に十分な知識、技能があり、指導を行うことが可能である。	スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・OJT
5.6 簡易灌漑農業の指導	○	○		自然条件に合った簡易灌漑農業の指導を行うことができる。	**知識：A / B / C** **技能；A / B / C** アグロフォレストリー担当の C/P が担当し、知識は十分あるが、実践的な技能は更に向上する余地がある。専任の C/P が居れば、よりきめ細かい指導が可能である。	・スール・フツーロ財団（灌漑 C/P） ・OJT
5.7 リボルビングファンドの適用	○			地域の社会経済条件に合ったリボルビングファンドを提案し、管理することができる。	**知識：A / B / C** スール・フツーロ財団はマイクロクレジットの経験を有し、この能力を十分に備えている。	・スール・フツーロ財団（役員、P/C） ・意見交換
6. アグロフォレストリーの導入	**自然条件や社会経済条件に合ったアグロフォレストリーを指導することができる。**					
6.1 アグロフォレストリーの計画	○	○		自然条件や社会経済条件に合ったアグロフォレストリーモデル（常畑化、生産性向上及び生産物の多様化）を提案することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** アグロフォレストリーの基礎知識は持ち、応用技術力も身についてきているが、更に向上の余地がある。	・スール・フツーロ財団（アグロフォレストリーC/P） ・意見交換、OJT

業務のカテゴリー	キャパシティ			必要なキャパシティ（到達目標）	3 年目の現状(2008 年 10 月)	実施主体（担当部署、担当者）、関係機関、CD の手法
	K	S	A			
6.2 デモンストレーション・ファームの設置	○	○	○	デモンストレーション・ファームの設定、管理、OJT を指導することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** 計画したデモンストレーション・ファームの選定、巡回指導を行う能力は高い。きめ細かい指導を行う能力にはまだ向上の余地がある。	・スール・フツーロ財団（アグロフォレストリーC/P） ・ＯＪＴ，OJT、研修
6.3 アグロフォレストリーの指導	○	○	○	デモンストレーション・ファームにおいてアグロフォレストリー技術を指導することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** **心構え：A / B / C** 知識は十分持っているが、技術適用にはまだ向上する余地がある。普及活動を行う能力も高い。しかし、普及活動を行うには体制の強化が望まれる。	・スール・フツーロ財団（アグロフォレストリーC/P） ・意見交換、OJT
6.4 モニタリングの実施	○	○		デモンストレーション・ファームのモニタリングを計画・実施できる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** モニタリング計画策定の知識は十分である。しかし、実施には向上の余地がある。今後継続的に行うモニタリングシステムの構築が期待される。	・スール・フツーロ財団（アグロフォレストリーC/P） ・意見交換、OJT
7. GIS の活用	**GIS を活用してプロジェクトを管理することができる。**					
7.1 GPS の活用	○	○		GPS で観測した位置情報を GIS に組み込むことができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 当該業務を行う能力は既に備えている。	・スール・フツーロ財団（GIS C/P） ・技術指導、OJT
7.2 属性データの調査	○	○		GIS の属性データとなる植林地のデータの調査を設計し、実施することができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 当該業務を行う能力は既に備えている。	・スール・フツーロ財団（GIS C/P） ・技術指導、OJT
7.3 GIS の活用	○	○		GIS の検索機能、オーバーレイ機能などを使って、植林地の管理や OJT ができる。	**知識：A / B / C** **技能：A / B / C** 当該業務を行う能力は既に備えている。 植林担当 C/P と連携して実施することが望まれる。	・スール・フツーロ財団（GIS C/P） ・技術指導、OJT

Categoria del Trabajo	Conocimiento			Habilidad			Actitud		
	A	M	B	A	M	B	A	M	B
3.1							0	1	0
3.2							0	1	0
3.3							0	1	0
3.4							0	1	0
3.6							0	1	0
5.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
5,2,1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
5,2,3	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
6,1,1	0	1	0	1	0	0			
6,1,2	1	0	0	1	0	0			
6.2	1	0	0	1	0	0			
6.3	1	0	0	1	0	0			
6.4	1	0	0	1	0	0			
7.1	0	1	0				0	1	0
7.2	0	1	0	0	1	0	0	1	0
7.3	1	0	0				1	0	0
8.1	0	0	1	0	1	0			
8.2	0	1	0	0	1	0	0	1	0
8.3	0	1	0	0	1	0			
8.4									
9.1	1	0	0	0	1	0			
9.2									
9.3									
9.4									
10.1									
10.2									
10.3									
Total:	9	6	1	8	5	1	3	9	1
Punto de Capacidad	27	12	1	24	10	1	9	18	1
Actual	40			35			28		
Todos A	48			42			39		

Objetivos del Proyecto

Categoria del Trabajo	Conocimiento			Habilidad			Actitud		
	A	M	B	A	M	B	A	M	B
1.1							0	1	0
1.2							1	0	0
1.3							0	1	0
1.4							0	1	0
1.5				0	1	0	0	1	0
1.6				0	1	0	0	1	0
2.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2,2,1	0	1	0						
2,2,2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2,2,3	0	1	0	0	1	0	0	1	0
2.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2.4.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2.4.2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
2.4.3	0	1	0	1	0	0	1	0	0
3,1,1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
3,1,2	1	0	0	1	0	0			
3.2	1	0	0	0	1	0			
3.3	1	0	0	1	0	0			
3.4	1	0	0	0	1	0			
4.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
4.2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
4.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
5.1	0	1	0	0	1	0			
5.2	0	1	0	0	1	0	1	0	0
5.3	0	0	1						
5.4	0	1	0	0	1	0			
5.5									
5.6									
5.7	1	0	0						
6.1	1	0	0	0	1	0			
6.2	1	0	0	0	1	0	0	1	0
6.3	1	0	0	0	1	0	0	1	0
6.4	0	1	0	0	1	0			
7.1	1	0	0	1	0	0			
7.2	1	0	0	1	0	0			
7.3	0	1	0	0	1	0			
Total:	18	9	1	14	13	0	11	9	0
Punto de Capacidad	54	18	1	42	26	0	33	18	0
Actual	73			68			51		
Todos A	84			81			60		

Objetivos del Proyecto

Categoria del Trabajo	Conocimiento			Habilidad			Actitud		
	A	M	B	A	M	B	A	M	B
1.1							1	0	0
1.2							1	0	0
1.3							1	0	0
1.4							0	1	0
1.5				1	0	0	0	1	0
1.6				1	0	0	0	1	0
2.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2,2,1	1	0	0						
2,2,2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2,2,3	1	0	0	0	1	0	0	1	0
2.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2.4.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
2.4.2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
2.4.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
3,1,1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
3,1,2	1	0	0	1	0	0			
3.2	1	0	0	0	1	0			
3.3	1	0	0	1	0	0			
3.4	1	0	0	0	1	0			
4.1	1	0	0	1	0	0	1	0	0
4.2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
4.3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
5.1	1	0	0	1	0	0			
5.2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
5.3	0	1	0						
5.4	1	0	0	1	0	0			
5.5	1	0	0	1	0	0			
5.6	1	0	0	0	1	0			
5.7	1	0	0						
6.1	1	0	0	0	1	0			
6.2	1	0	0	0	1	0	1	0	0
6.3	1	0	0	0	1	0	0	1	0
6.4	1	0	0	0	1	0			
7.1	1	0	0	1	0	0			
7.2	1	0	0	1	0	0			
7.3	1	0	0	1	0	0			
Total:	28	2	0	21	8	0	14	6	0
Punto de Capacidad	84	4	0	63	16	0	42	12	0
Actual	88			79			54		
Todos A	90			87			60		

付属資料3.　CD(Capacity Development)シートの集計結果

業務のカテゴリー	知識；K			技能；S			心構え；A			備考（どのように変化したか、また変化したと考えられる要因等）
	2006年	2007年	2008年	2006年	2007年	2008年	2006年	2007年	2008年	
1. 組織の能力										
1.1 リーダーシップ	―	―	―	―	―	―	B	B	A	部下への指導力向上
1.2 意思決定メカニズム	―	―	―	―	―	―	B	A	A	P/Cのﾘｰﾀﾞｼｯﾌﾟ向上
1.3 コミュニケーション	―	―	―	―	―	―	B	B	A	定例会議によりｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ向上
1.4 貢献意欲	―	―	―	―	―	―	B	B	A	業務改善の余地有
1.5 プロジェクトの運営	B	B	A	B	B	A	B	B	A	FSFは能力向上。住民監理ｼｽﾃﾑ改善の余地有。
1.6 組織の体制	―	―	―	―	―	―	B	B	B	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ全体の運営能力は向上。農業指導部門の強化必要。
2. 参加型流域管理										
2.1 参加型流域管理のプロセス	B	A	A	B	B	A	B	A	A	元来の高い能力が更に向上。
2.2 参加型ワークショップの実施										
2.2.1ワークショップの計画	B	B	A	B	A	A	―	―	―	ﾆｰｽﾞやﾚﾍﾞﾙに合わせた計画策定能力向上
2.2.2ファシリテーション能力	A	A	A	B	A	A	A	A	A	柔軟にファッシリテーションが可能。
2.2.3 情報の整理	B	B	A	C	B	B	C	B	B	整理能力向上は今一歩必要。
2.3 参加型活動の支援	A	A	A	B	A	A	A	A	A	住民支援意欲が高まり、問題解決を働きかける能力も向上。
2.4 灌漑農業グループへの支援										
2.4.1 合意形成の支援	A	A	A	B	A	A	B	A	A	C/P自身で住民集会を開催している。
2.4.2 灌漑農業組合の規約の策定を支援することができる。	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/P主体で規約策定の支援を実施している。
2.4.3 組織強化を支援することができる。	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/P自身で住民集会を開催している。
3. 植林、森林管理										
3.1 植林計画の作成										
3.1.1 樹種の選定	B	A	A	B	A	A	―	―	―	社会的ニーズを配慮した樹種選択を備えた。
3.1.2 植林に関する事業計画	B	A	A	B	A	A	―	―	―	一連の植林計画を有機的に連携して考えられる。
3.2 苗木生産計画の作成	A	A	A	B	B	B	―	―	―	土地所有に基づき、現地実態を把握することが今一歩必要。
3.3 植林の実施	A	A	A	B	A	A	―	―	―	住民植林の支援の能力を備えた。
3.4 保育計画の作成・実施	A	A	A	B	B	B	―	―	―	実施はまだだが、計画作成能力は備えた。
4. 森林火災										
4.1 森林消防団の育成	B	A	A	B	B	A	B	A	A	プロジェクト1年目で経験し、能力を備えた。
4.2 消防団の訓練	B	A	A	B	A	A	B	A	A	同上
4.3 森林火災防止の啓発	A	A	A	B	A	A	A	A	A	啓発材料は年々進歩している。
5. 簡易灌漑農業の導入										
5.1 簡易灌漑農業の導入ポテンシャルの高い地区の調査・特定	C	B	A	C	B	B	―	―	―	JICA外の灌漑プロジェクトでサイトを特定できるようなっている。
5.2 基本方針の作成	B	B	A	C	B	A	B	A	A	方針を理解し、他プロジェクトにて応用できるようになった
5.3 水理計算、設計	C	B	B	C	B	B	―	―	―	基本は理解しているが、詳細設計の実施には至っていない（C/Pの変更があったため）
5.4 簡易灌漑施設の施設・施工	C	B	A	C	B	A	―	―	―	専門家や庸人が不在でも施工は実施できている。
5.5 簡易灌漑施設のオペレーション、維持管理	C	B	B	C	B	B	―	―	―	維持管理計画を立て、集落に指導を始めている。
5.6 簡易灌漑農業の指導	B	B	B	C	B	B	―	―	―	営農指導計画を立て、実施し始めている。よりきめ細かい指導のためには専任のC/Pが必要である。
5.7 リボルビングファンドの適用	C	B	A	―	―	―	―	―	―	返済計画の立案が可能で、説明も実施した(3村）。回収が課題である。

6. アグロフォレストリーの										
6.1アグロフォレストリーの計画	A	A	A	B	B	B	―	―	―	応用技術も備えたが、より幅広い実践的技能が必要。
6.2 デモンストレーション・ファームの設置	B	A	A	B	B	B	B	B	A	デモファームの設定能力は高い。管理能力も高いが巡回する時間が十分に取れない。
6.3アグロフォレストリーの指導	A	A	A	B	B	A	B	B	A	指導能力は高いが巡回する時間が十分に取れない。
6.4 モニタリングの実施	B	B	A	B	B	A	―	―	―	知識は十分にあり、計画できるが、実施に十分な時間が取れない。
7. GISの活用										
7.1 GPSの活用	B	B	A	B	B	A	―	―	―	GPS情報をGISに組み込む能力は十分に備えている。
7.2 属性データの調査	A	A	A	A	A	A	―	―	―	植林地の属性データを扱う能力は十分に備えている。
7.3 GISの活用	B	B	A	B	B	A	―	―	―	オーバーレイ機能等により植林地の管理能力は十分に備えている。

1年目 (2006年)	67.1%
2年目 (2007年)	82.9%
3年目 (2008年)	94.2%

(計算方法)
A:3ポイント, B:2ポイント, C:1ポイント
[CDスコア(%)]=
[(Aの個数)×3+(Bの個数)×2+(Cの個数)]/240*×100
*各年とも「知識」「技能」「心構え」の評価項目が合計80項目であり、仮にすべての項目がAの場合、最高ポイントである240が満点なる

Resumen de la Hoja de Desarrollo de Capacidades Anexo 10

	Conocimiento			Habilidad:			Actitud			Observación（Como cambia capacidad, o factores de cambio)
Categoría del Trabajo	**2006**	**2007**	**2008**	**2006**	**2007**	**2008**	**2006**	**2007**	**2008**	
1. Capacidad organizativa										
1.1 Liderazgo	—	—	—	—	—	—	B	B	A	Se elevó de dirigir al equipo de Coordinador de Proyecto.
1.2 Mecanismo de toma de decisi ón	—	—	—	—	—	—	B	A	A	El liderazgo de Coordinador del Proyecto se elevó.
1.3 Comunicación	—	—	—	—	—	—	B	B	A	Comunicación se elevó por reunión ordinaria.
1.4 Voluntad de contribuir	—	—	—	—	—	—	B	B	A	Todavía hay espacio de mejoramiento de trabajo.
1.5 Administración del Proyecto	B	B	A	B	B	A	B	B	A	Capacidad de administración de FSF se elevó, pero todavía hay espacio de mejoramiento para sistema de administración de habitantes.
1.6 Estructura organizativa	—	—	—	—	—	—	B	B	B	Capacidad de manejo general de proyecto se elevó. Pero es necesario fortalecimiento parte de asistencia té cnica a comunitarios.
2. Manejo participativo de										
2.1 Procedimientos del manejo participativo de cuencas	B	A	A	B	B	A	B	A	A	Tenía alta Capacidad de manejo participativo de inicial, pero se la elevó más.
2.2 Realización de talleres participativos	—	—	—	—						
2.2.1 Capacidad de diseñar talleres	B	B	A	B	A	A	—	—	—	Capacidad de diseñar conforme a las necesidades y niveles de los comunitarios se desarrolló.
2.2.2 Capacidad como facilitador	A	A	A	B	A	A	A	A	A	Tiene capacidad por facilitador que trata talleres con flexibilidad.
2.2.3 Organización de informaciones	B	B	A	C	B	B	C	B	B	Es necesario se forzará la capacidad de arreglar datos de resultados de talleres.
2.3 Apoyo a las actividades participativas	A	A	A	B	A	A	A	A	A	Tienen muchas ganas de apoyar a los comunitarios y saben los procedimientos que promueven ellos mismo para resolver los problemas.
2.4 Apoyo a los grupos de agricultura de riego bajo riego sencillo	—	—	—	—						
2.4.1 Apoyo a la formación de consenso	A	A	A	B	A	A	B	A	A	C/P mismo realiza los talleres de comunitarios.
2.4.2 Apoyo a la elaboración de reglamentos de asociación de riego	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/P mismo realiza apoyar para elaborar regula de comunidades.
2.4.3 Apoyo a fortalecer la organización	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/P mismo realiza los talleres de comunitarios.
3. Reforestación y manejo										
3.1 Elaboración del plan de reforestación	—	—	—	—						
3.1.1 Selección de especies de á rboles	B	A	A	B	A	A	—	—	—	Puede seleccionar las especies por necesidades sociales.
3.1.2 Plan de trabajo de reforestación	B	A	A	B	A	A	—	—	—	Puede figurarse uniendo una serie de actividades de plan de reforestación.
3.2 Elaboración del plan de producción de plántulas	A	A	A	B	B	B	—	—	—	Es necesario un poco comprender la situación actual de terrenos por causa de tenencia es privado.
3.3 Ejecución de reforestación	A	A	A	B	A	A	—	—	—	Tiene suficiente capacidad para apoyar las actividades de reforestación que se ejecutan por comunitarios.
3.4 Elaboración y ejecución del plan de mantenimiento de áreas reforestadas.	A	A	A	B	B	B	—	—	—	Aunque todavía no ejecutan, tiene la capacidad para elaborar un plan de mantenimiento de las áreas reforestadas.

4. Incendios forestales										
4.1 Creación de brigadas contra incendios	B	A	A	B	B	A	B	A	A	Se desarrolló la capacidad con la experiencia de primer año.
4.2 Entrenamiento de brigadas	B	A	A	B	A	A	B	A	A	Ídem
4.3 Conscientización sobre incendios forestales	A	A	A	B	A	A	A	A	A	El material para conscientización está desarrollando año por año. Power point →DVD
5. Introducción de agricultura										
5.1 Estudio e identificación de á reas de alto potencial para la introducción de agricultura de riego sencillo	C	B	A	C	B	B	—	—	—	Se elevó la capacitación como puede identificar de áreas de alto potencial para el riego afuera de Proyecto de JICA.
5.2 Elaboración del lineamiento b ásico	B	B	A	C	B	A	B	A	A	Se puede comprender principio y puede aplicarla a otros proyectos.
5.3 Cálculo hidrográfico y diseño	C	B	B	C	B	B	—	—	—	Se comprende básico, pero no se logra a diseño detallado. (Por causa de cambio de C/P)
5.4 Construcción de las instalaciones de riego sencillo	C	B	A	C	B	A	—	—	—	Se puede realizar obra de construcción sin expertos japoneses y expertos empleados.
5.5 Capacitación sobre operación y mantenimiento del sistema de riego sencillo	C	B	B	C	B	B	—	—	—	Se elabora plan de mantenimiento y empieza orientar a las comunidades.
5.6 Orientación sobre la agricultura de riego sencillo	B	B	B	C	B	B	—	—	—	Se elabora plan de asistencia técnica y empieza asistencia técnica. Pero es necesario C/P que tiente cargo de asistencia técnica para orientar más detallado.
5.7 Aplicación del Fondo Rotatorio	C	B	A	—	—	—	—	—	—	Se puede elaborar plan de reembolso ya se realizó explicación (en 3 comunidades). Tema de siguiente es retractación.
6. Introducción de agroforesterí										
6.1 Plan de agroforestería	A	A	A	B	B	B	—	—	—	Se desarrolló técnica de aplicación, pero es necesario fortalecer más técnica amplia.
6.2 Establecimiento de la finca de demostración	B	A	A	B	B	B	B	B	A	Tiene alta capacidad de establecimiento de parcela demostrativa y capacidad de manejo. Pero no tiene suficiente tiempo para asistir a los comunitarios.
6.3 Orientación sobre agroforester ía	A	A	A	B	B	A	B	B	A	Tiene alta capacidad de asistir a los comunitarios, pero no tiene suficiente tiempo para orientación.
6.4 Ejecución del monitoreo	B	B	A	B	B	A	—	—	—	Tiene bastante conocimiento de monitoreo, pero no tiene suficiente tiempo para monitoreo.
7. Uso del SIG										
7.1 Uso del GPS	B	B	A	B	B	A	—	—	—	Tiene la capacidad de introducir al SIG la información adquirida usando de GPS.
7.2 Estudio de los datos de atributos	A	A	A	A	A	A	—	—	—	Tiene la capacidad de tratar los datos de áreas reforestadas.
7.3 Uso del SIG	B	B	A	B	B	A	—	—	—	Tiene la capacidad de manejar áreas reforestadas por utilizar funciones de sobreposición del SIG.

1 ero ano (2006)	67.1%
2 ero ano (2007)	82.9%
3 ero ano (2008)	94.2%

(Método de cálculo)
A:3puntos, B:2puntos, C:1punto
[CD Score(%)]=[(No.of A)×3+(No.of B)×2+(No. of C)]/240×100
*240:Calificacion maxima

Summary of Capacity Development(CD) Sheets Annex 10

	Knowledge			Skill			Attitude			
Category of Items	**2006**	**2007**	**2008**	**2006**	**2007**	**2008**	**2006**	**2007**	**2008**	**Note (Ex: How ability has been changed or factor of change)**
1. Ability of organization										
1.1 Leadership	—	—	—	—	—	—	B	B	A	Ability of leadership to subordinate has been improved.
1.2 mechanism of decision-making	—	—	—	—	—	—	B	A	A	Ability of leadership has been improved.
1.3 Communication	—	—	—	—	—	—	B	B	A	Communication among the team has been improved due to regular meeting
1.4 Willingness to serve	—	—	—	—	—	—	B	B	A	
1.5 Management of project	B	B	A	B	B	A	B	B	A	Ability on C/P has been improved. System of monitoring on activity of villagers admits of improvement.
1.6 Structure of Organization	—	—	—	—	—	—	B	B	B	Ability on management of project has been improved. A part of extension of agriculture admits of improvement.
2. Participatory watershed management										
2.1 Process	B	A	A	B	B	A	B	A	A	High ability has been more improved.
2.2 Holding of workshop	—	—	—	—						
2.2.1 Planning of workshop	B	B	A	B	A	A	—	—	—	Ability on planning according to needs or level of villagers has been improved.
2.2.2 Ability of facilitation	A	A	A	B	A	A	A	A	A	C/P can facilitate the workshop flexibly.
2.2.3 Organization of information	B	B	A	C	B	B	C	B	B	Improvement on ability of information organization is a little bit needed.
2.3 Support to participatory activity	A	A	A	B	A	A	A	A	A	
2.4 Support to irrigation committee	—	—	—	—						
2.4.1 Support on consensus-making	A	A	A	B	A	A	B	A	A	C/Ps can hold the meeting with villagers by themselves.
2.4.2 Ability on support to irrigation committee to make regulation	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/Ps can assist an irrigation committee in making regulation by themselves.
2.4.3 Ability on support to irrigation committee on enhancement of committee	B	B	A	B	A	A	B	A	A	C/Ps can hold the meeting with villagers by themselves.
3. Reforestation and forest management										
3.1 plan of reforestation	—	—	—	—						
3.1.1 Selection of tree species	B	A	A	B	A	A	—	—	—	C/Ps has acquired the ability on selection of tree species according to social needs.
3.1.2 Activities plan on reforestation	B	A	A	B	A	A	—	—	—	C/Ps can make a comprehensive reforestation plan in area organically.
3.2 Plan of production of seedling (Trees)	A	A	A	B	B	B	—	—	—	C/Ps should have a little more ability on grasping the actual condition of area based on the land ownership
3.3 Implementation of reforestation	A	A	A	B	A	A	—	—	—	C/Ps can have ability on assist for villagers in reforestation.
3.4 Plan and implementation of tending of trees	A	A	A	B	B	B	—	—	—	C/Ps has planning ability but should a little more ability on implementation.

4. Forest fire										
4.1 Cultivation of forest fire company	B	A	A	B	B	A	B	A	A	C/Ps can have the ability because they had experienced at the first year of this project.
4.2 Training of fire company	B	A	A	B	A	A	B	A	A	Ditto.
4.3 Enlightenment of forest fire defense	A	A	A	B	A	A	A	A	A	Materials for enlightenment have been improved year by year.
5. Introduction of small scale irrigation										
5.1 Study and prioritization of high potentiality area for small scale irrigation	C	B	A	C	B	B	—	—	—	C/Ps can select the high potential area out of JICA's project.
5.2 Making of basic principle	B	B	A	C	B	A	B	A	A	C/Ps apprehend the principle of irrigation and apply to other project.
5.3 Hydraulic calculation and design	C	B	B	C	B	B	—	—	—	C/Ps can get basic theory but still needs to technology transfer in part of detailed design (C/Ps has been
5.4 Construction of facility of small scale irrigation system	C	B	A	C	B	A	—	—	—	C/Ps can manage the construction without Japanese
5.5 Operation and maintenance of irrigation system	C	B	B	C	B	B	—	—	—	C/Ps start to extend the knowledge and operation of
5.6 Extension of irrigation farming	B	B	B	C	B	B	—	—	—	C/Ps start to do the extension of farming based on the plan. More C/Ps should work for the extension of farming.
5.7 Revolving fund	C	B	A	—	—	—	—	—	—	C/Ps can make repayment plan and explain it to a irrigation members. Withdraw of revolving fund should be considerable.
6. Agrofrestry										
6.1 Plan	A	A	A	B	B	B	—	—	—	C/Ps can get the applied technology but still needs to acquire the wildly practical technique.
6.2 installation of demonstration farm	B	A	A	B	B	B	B	B	A	C/Ps have high ability on selection of demonstration farm and management of farmland, but does not have enough time to check them thoroughly.
6.3 Extension	A	A	A	B	B	A	B	B	A	C/Ps have high ability on extension of farming, but does not have enough time to check them thoroughly.
6.4 Monitoring	B	B	A	B	B	A	—	—	—	C/Ps have high knowledge and can plan the farming, but does not have enough time to implement it thoroughly.
7. GIS										
7.1 Use of GPS	B	B	A	B	B	A	—	—	—	C/Ps have enough ability to set the Information from GPS in GIS.
7.2 Study of attribute data	A	A	A	A	A	A	—	—	—	C/Ps have enough ability to deal with attribute date at reforestation area.
7.3 Use of GIS	B	B	A	B	B	A	—	—	—	C/Ps have enough ability to manage the information of reforestation area using overlay function of GIS.

First year (2006)	67.1%
Second year (2007)	82.9%
Third year (2008)	94.2%

(Method of Calculation)
A:3Points, B:2Points, C:1Point
[CD Score(%)]=[(No.of A)×3+(No.of B)×2+(No. of C)]/240×100
*240:Maximum

付属資料4.　村落視察時の住民へのヒアリング結果　（11月12日,13日）

村落	Naranjos	Periquito	Derrumbado	Las Lagunas
同行者	環境省；Mr.Carlos Sirie 財団本部；ラモン・サンタナ 財団PLC；CPロベルト、プロジェクト秘書 日本側；小川団長、増井チーフ、玉手（通訳）、南雲		環境省；Ms. Teresa Disla 財団本部；ラモン・サンタナ 財団PLC；CPロベルト、プロジェクト秘書 日本側；小川団長、増井チーフ、古川専門家、玉手（通訳）、ワスカル所員、南雲	
村落参加者	灌漑メンバー；Mr.ホセ（灌漑リーダー）、Ms.ルシアナ（秘書）、Mr.ラモンル・ルシアナ（メンバー）、Mr. アンヘル（書記）の計4名	灌漑メンバー；Mr.ピンゴ（灌漑リーダー）、Mr.ルイスバエラ（書記）、Ms.ドミンガ（メンバー）、Mr. カジュタノ（経理）、Mr.ルーカ・スエノの計5名【アグロCPジェイソン氏同行】	灌漑リーダー、Mr.エルバルド、Mr.アドルホ、Mr.リブラト、他2名の計7名	灌漑リーダー（アマブレ）、理事6名、書記、会計係、規律係、2名の委員長補佐の計12名
基礎情報	人口700人、灌漑メンバー（プロジェクトの直接受益者）３０人、対象面積は計300タレヤ（1タレヤ＝0. 06ha）（メンバー一人当たり平均10タレヤ）	灌漑メンバー構成30人。	受益者33名（女性2名）、現在のところ灌漑は100%達成（通水）だがバブルの設置がまだでペンディング。植林は300タレヤ×3倍＝900タレヤ。現在まで4000本植林したが、面積は60－70タレヤ程度（CPのホルへが確認）	灌漑メンバー34名（女性4名）（3グループに分け回転させている）（①月・火11人、②水・木11名、③金・土11名）。6月23日から以上の体制でスタートし、全面積にパイプの溝作成の作業を実施してきた。 今まで101日の作業で延べ1003名参加。 パイプの総延長は6800メートル。大雨や冠婚葬祭の22日を除き、すべてメンバーは参加。 全体灌漑面積は約300タレヤ。実際の植林面積は83タレヤ（雨期のみの活動）。
対象住民のC/Pへの満足度	活動の実施に満足している	今は水が来て満足している	このプロジェクト全体の仕組みに満足している。（灌漑資材費を）借り、返済していくことで他の村落の約に立つので満足。	N/A
灌漑グループの住民参加状況	住民の参加率が向上しないのは、ハリケーンの影響で一時活動を休止したため。中には文句を言って活動に参加しないのが2、3名で作業が一部止まっている。 昨年のハリケーンの被害により、灌漑施設の工事がゼロからのやり直しとなったため、住民のモチベーションが低下した。 住民の参加率を向上させるには、30人のメンバーは各々違う考えを持っているため、時間がかかる。心を一つにして目標に向かっていく努力が必要。	参加率は20―23人でよい（実際の参加は15名程度。ハリケーン後3ヶ月は参加がなかった。Naranjosとの合同作業時に、2つの村落の参加率は大きく異なっている点が判明し、不公平感を感じて参加率が低下したのでは（増井チーフ））	住民はプロジェクト開始時から変わらず100%の参加状況。特に灌漑施設の工事にはほとんど100%の参加。しかしWS等への参加率は少し落ちる。	住民の参加率はとてもよい。6月23日から現在の体制でスタートし、全面積にパイプの溝作成の作業を実施してきた。 今まで101日の作業で延べ1003名参加。 パイプの総延長は6800メートル。大雨や冠婚葬祭の22日を除き、すべてメンバーは参加。
灌漑施設設置状況	灌漑施設の水がきていないには補修の不足によるもの。水が通っていないのは、谷の20本あまりのパイプ管の空中通しの部分であり、これは住民による施工が不十分であることにより手戻りが生じ、安定した通水が遅れている。 この村落では灌漑施設設置は始めての経験であり、他コミュニティーの先行事例をみながら作業を行っていたが、実際やってみたところ、予定通り工事が進まない部分がありこれが作業の遅れの原因である。住民のモチベーションがあまり回復していない。	今年に入り通水し、野菜栽培を開始。しかしタンク内に土砂が流入しすぐ詰まり水の安定供給が難しく現在住民が張り付かないと水がしようできない状況。水通しが悪くすぐ詰まってしまう。 通水する2年あまり、参加住民は水がなく作物の保障がない状況の中、自分の仕事をほったらかし灌漑優先で作業を行っていたため、メンバーの中には生活に困窮している人もいる。 畑の中のパイプラインについて、灌漑水の利用を試行的に曜日で振り分けているが、ルールを守らない住民がいるため、ルールの徹底のため、灌漑メンバー内で管理ユニットを作りたい。 灌漑組織強化のために、灌漑利用にかかるワークショップ（ＷＳ）をもう一度実施してほしい。WS開催に加え自分たちでミーティングをもち、自主性の醸成するためどのように管理していくか考える必要あり。	灌漑水が通水し灌漑農業を展開中。灌漑水は3月のテスト期間を経て、9月に本格的に通水した。灌漑水の利用は、グループ毎に使用できる曜日を決める等のルールを決め守れている。 1日あたり30タレヤの灌漑能力があり、作物毎に灌漑水を調整（全農地をブロック分けし、ブロック毎にオペレーターを配置、ローテーションでまわしている）している。基本的にメンバーは好きなように水を使用できる。 農業のほとんどはアボガド。残りはバナナ、アビチュエラ（マメ科）。 灌漑技術に加え灌漑農業の支援も必要であり、将来的に温室ハウス（＊オコアでの視察から影響を受けたらしい）で野菜を作れたらよい。ハウスの利用は市場への流通を意識したもの。 80年代に灌漑を導入したことがあったがハリケーンの被害によりやめた。 アボガドへの灌漑は、粘土質の土地は月1回の灌漑、また付近の砂の多い土壌では月2回の灌漑（乾季）が必要。雨期の灌漑は不要。 アボガドの技術研修については、プロジェクト雇用の農務省によって行われた。 今後、SDでの農業研修に住民を参加させ、果樹組合との連携を考えていきたい。 財団として、果樹組合に対し、組織化強化の支援を行っている。 研修／セミナーに参加していない住民に対しては、研修のCDを渡したり、ケーブルTV等でのフォローアップを考えている。また。プロジェクト内でも作物の研修（剪定技術、虫害予防）	灌漑設置作業は、貯水池の設置工事、柵の作成、複土作業、パイプの接続部の補修。溝の作成は完了。 灌漑農業は初めての体験であり、技術支援を必要としている。生産性の向上が期待できる。灌漑農業については、あまり資源がないため、当初はかなり多くの投資をお願いしたい。作付の種類（見当つかない）については、市場を意識した指導をお願いしたい。 村の若者は、農業はお金にならないため、都市部に勉強に出てそのまま帰ってこない。 生活用水の余剰水を利用した灌漑（夜6時から生活用水を減らし灌漑水を貯める対策）であり、プロジェクト以外にも水道委員会が存在。灌漑のメンテナンスは上水道のメンテの経験を生かしている。

付属資料4.　村落視察時の住民へのヒアリング結果　（11月12日,13日）

村落	Naranjos	Periquito	Derrumbado	Las Lagunas
灌漑水を利用した灌漑農業の実施状況	灌漑を利用した作物の20%はアボガドである。 野菜を作りたいが、灌漑施設の一部に故障がありまだ開始できない。希望としては、野菜を作り年3回栽培したい。 プロジェクト開始前はマメをつくるのに1万ペソ投入し、4,500ペソのみのリターンで非効率であり、これまで満足な生活ができなかった。プロジェクトで導入した灌漑水を利用しこれまでの不足部分を取り戻したい。 これまで灌漑水を利用した野菜の栽培経験はないため、今後財団の技術者やJICA専門家に教えてもらいたい。 Naranjosの灌漑メンバーには野菜の経験はないが、ハリケーンの被害によりPeriquitoに移住するDerrumbadoの住民が農業（野菜作付）技術を移転してくれると期待する。 アボガドの収穫時期により値段が異なる（通常8ペソ／個、12月・1月；15－20ペソ／個） 収穫時期の調整等については営農指導が必要。 灌漑水の利用により収穫時期の調整はできないが、灌漑水はアボガドの生産量および質の向上に資する。アボガドの質・量的な向上が住民の収入増加につながる。 アボガド以外に野菜生産を含めた経済分析については十分行っていないが、作物カレンダーの作成等を行っている。 リスク分散の意味でもさまざまな作付け・生産が必要。 （以上、住民） 財団としても今後、野菜と果樹栽培の技術支援をしていく。 （財団ＣＰ） 11月～3月の乾期に灌漑農業が展開できるよう、灌漑施設の修理に協力をお願いしたい（小川）	住民は財団から資金を借り、30人中26人はアボガド、残りの4人は灌漑水を利用したピーマン・ナスの栽培。野菜栽培しても市場がない可能性があるため、財団に対し流通や市場を意識した野菜栽培の技術指導を希望。 リボルビングファンドの返済のため、財団によるアボガドの苗木を導入して1年半が経過した。	N/A	N/A
リボルビングファンドの状況	野菜の栽培を通じリボルビングファンドを返済したい。 メンバーはリボルビングファンドで借金を抱えているが、貧困な地域であるためJICAからの支援をお願いしたい。	他村落への波及を考慮し、野菜栽培を通じリボルビングを返済していきたい。 リボルビングの返済額および運用ルールについてはメンバーは全員理解しているようだ（97,000ペソ／10タレヤ（１メンバー））。返済不可能な額ではないという認識。	N/A	N/A
植林状況と今後の見込み／焼畑の現状	木は雨期でないと植林できない。大規模所有者の中で土地を提供してくれる見込みはある。 自分たちの土地だけで、目標の900タレヤ（灌漑導入300タレヤの3倍）は達成できる。 プロジェクト受益者は土地を持たないケースがあるが、土地所有者から土地を借りるのに特別な支障はない。 30人のメンバーのうち土地を持たないのは6人のみ。その6人は土地オーナーより土地を借り、野菜栽培に使用する契約をオーナーと交わしている。 これまで焼畑にて主食となるマメを栽培してきたが、JICAのワークショップで、焼畑は年を経るにつれ土壌悪化することを知り、牛を使った土壌作りを実践している。そのため、あえて焼畑をする必要がなくなった。 上流域にある水源周辺に植林を行うことで、水源を保全したい。 プロジェクト終了後も植林した木を引き続きモニタリングし守っていく。特に雨期に植林（マツ・マホガニ）を行った際は枯れを防ぐためのモニタリングも必要である。 植林の目標は900タレヤであるが、現在までの実績は250タレヤに止まっているがその理由として、①プロジェクト期間中はほとんど灌漑の作業を費やし植林まで手が回らなかったこと、②乾期が長くきびしく、雨期の植林作業があまり進まなかったの2点である。 プロジェクトの条件として、灌漑完成後に植林を行う契約であったが、ハリケーン等の被害により実際灌漑の完成が遅れていたため、植林を前倒し実施しており、むしろ250タレヤは高く評価できるのではないか。（「灌漑設置後の植林」を考慮に入れてほしい） 目標としては、2008年600タレヤ、2009年900タレヤであり、時間的に猶予がある。 植林の主要樹種としてのマツの種の生産が不足しており、十分な苗木を準備できなかったのが遅れた１要因である。	900タレヤの目標（契約）のところ、今までで計600タレヤ達成。同時に水源の保全に向けた植林にも注力。植林目標を達成しない理由；灌漑施設設置に時間を要し、また自分の仕事もあり、植林に時間を割けなかった。 残りの目標面積300タレヤの土地は大土地所有者の許可を得ているためこれから植林を行う。特に水源中心の私有地を確保し植林する。大土地所有者は牧畜にしており、牧草地の間に植林することで草地のメンテナンス機能につながる点をオーナーは理解しはじめ、今後オーナーと話合い、植林用地の取得について契約を結ぶ予定。大土地のオーナーは少しずつ植林の重要性に目を向けており、植林の経済的な重要性を理解してきている。 この土地はマツの栽培が適しており、等高線植林を行い土壌保全を行う。加えて住民の家の周辺にも植林するよう伝えている。 植林は将来的に流域全体の問題でもあり、灌漑メンバーだけでなく周辺住民へも波及させる必要がある。	植林は300タレヤ×3倍＝900タレヤ。現在まで4000本植林したが、面積は60－70タレヤ程度。 今後の植林用地は特定できている。土地は灌漑グループ外の土地（受益者でなく他のコミュニティーの土地）。 他人の土地を植林用地に今後利用する予定であり、契約ではなく口約束で行う。マツを植林したら換金できるため、土地所有者は保護してくれるだろう。ただ植林後も木が残っている保証はない。植林用地に大きな面積の確保は困難。植林は今年に入ってから実施している。 植林を行う雨期は、月1回灌漑メンバーは植林のため山へ行く。もし都合の悪いメンバーは次の機会に参加することでマンパワーの不足を補っている。 プロジェクト実施前は山で焼畑をしていたが、プロジェクト開始後は80－90%は灌漑農業を実施。焼畑をやめてから収入がなく、他方、アボガドが収穫できるようになるには3年程度かかる。短期的な収入を得るには今後温室ハウスの導入が必要。今生活できているのは前の収穫の貯金によるものであり、生活は楽ではない。 ユカ・バナナを導入してるが、土壌に砂が入っているため、野菜の作付は大変である。 PLCの果樹組合とコンタクトをとり農産物（アボガド等）を販売したい。 植林用地については、一度植林すると家畜飼育等の別の利用ができなくなるため、拒否する人もいる。	植林用地についてはすでにメンバーとその他の土地を準備している。今まで経験はないが、他の土地については契約を行い、土地を借りる予定。 プロジェクト実施前から今まで土壌浸食の影響を受けているため、焼畑をやめプロジェクトに参加している。森林を焼かない方がよいことを理解し、放牧地への火入れは行っていない。

付属資料4.　村落視察時の住民へのヒアリング結果　（11月12日,13日）

村落	Naranjos	Periquito	Derrumbado	Las Lagunas
アグロフォレストリーの状況等（視察の確認事項）	N/A	河川汚染防止および有機堆肥の利用を目的とし、ミミズ堆肥は建設中である。灌漑水を利用したアボガド生産も行う。 【La Mesetaのアグロサイト視察】 ミミズ堆肥（12℃以上、湿度70%、PH7程度に管理）は現在建設中。 教会の支援を通じNGOが灌漑水を引いている。プロジェクト前後での変化は、供与された道具で土作りや肥料作り、ホースによる灌漑が行えるようになった。アグロの作業は家族のみであり、周辺住民の参加、関与はなし。財団CPのジェイソンは土壌保全工および生垣柵等の技術指導を行っている。 技術指導はグループ指導でなく、個々への指導であり、他村落へのスタディーツアーを実施している。技術的に向上したため、他人へある程度技術は行えるレベルにある。 アグロ導入してから1年半であり、まだ経済的な成果は上がっていない。アグロの導入は3人のみであり、面積は15タレヤ／人。 村全体は32世帯であり、レモングラスを利用した土壌保全工を導入している。 アグロの苗はリボルビングファンドの利用し購入した。金額は大きくなくまもなく完済可能である。他方、周辺住民はアグロに対し興味なし。 アボガドの出荷先は今のところないが、財団は全国的な果樹組織を通じ、近く国外輸出を視野に入れている。	N/A	N/A
森林火災	プロジェクト活動にて灌漑受益者だけでなく周辺住民にも研修を行い啓発活動／環境教育を行っており、今のところ山火事は起きていない。	いろんな組織/団体が村落に入っており、植林にたいする意識が高まり、結果森林火災は起きていない。火災が起きても防火団を結成しているため初期消火にて対応が可能である。	プロジェクト前から植林活動を行っており、ここのところ火災を見かけていない。コミュニティーとして森林火災の研修を受けており、ボランティア消防団を結成している。	N/A
プロジェクトのインパクト	このプロジェクトはわれわれにとって長年夢にまで見た、乾期の灌漑水を与えてくれた。水は最終的にはコミュニティー全体の利益になる。しかし、プロジェクト終了後の収入向上にどの程度寄与するか不明である。	N/A	N/A	N/A
その他	【農業普及員の存在】 農業普及員はいない。ロンパウロ氏は農業省からの出向技術者であり、またCPのロベルトは農地省出身の技術者であるが、Naranjosまで手が回らない 【今後の支援】 プロジェクト実施中はJICA,プロジェクト後は財団が中心となって行う。	同地域は貧困であり、プロジェクト活動よりは自分の仕事が第一である。灌漑メンバー以外に村落内に貧困が存在する。	特に灌漑農業の支援のため、プロジェクトの1年程度の延長をお願いしたい。 【リボルビングファンド】 （2年間の無利子期間を経て）6年で完済したい。そのため12月にアボガドを売りたい。 【付近の灌漑サイト】 すでに通水しており、灌漑メンバーにより、アビチュエラ（マメ）やピーマンの栽培。スプリンクラーはたまに詰まることあり。バンドゥーラやアビチュエラの主食のマメは、今後少しずつ導入を図る。	【リボルビング】 まだ返済条件が決まっていない。投入はいづれ返済することは理解している。

Project Design Matrix (PDM) Ver.2

ANNEX 1
August 1, 2007'

Project Title: Sustainable Watershed Management Project in the Upper Area of the Sabana Yegua Dam
Target Area :14 villages in municipal of Padre Las Casas
Target Groups: Staff of the Sur Futuro Foundation (FSF) and Secretariat of State of Environment and Natural Resource (SEMARN)
Beneficiaries: Local citizens in the Project area--about 8,000 villagers

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Super Goal Through the implementation of Watershed Management with local community participation, the life standard of villagers in the upper watershed of Sabana Yegua Dam will be improved and the forest resources will be managed adequately in the area.	1.By 2019, the forest area in the upper watershed of Sabena Yegua Dam will be increased to 55 %. 2.By 2019, the level of income of the local residents in the upper watershed of Sabena Yegua Dam will be increased by 20 %.	Aerial photographs (taken by satellite)	
Overall Goal The forest resources in the Project area will be handled suitably by the villagers using techniques they assimilate through the technical support provided by the staff of FSF and SEMARN.	By 2014, the forest area in the Project area will increase by 3 %.	Aerial photographs (taken by satellite)	
Project Purpose The staff of FSF and SEMARN will improve their technical capacity in Watershed Management and administrative capacity in project management.	1. The technical capacities in watershed management and the project administration capacities of the technicians working in the FSF and the SEMARN will be improved by 20 % (compared with their levels before project execution). 2. The satisfaction of local residents with the services offered by the technicians of the FSF and the SEMARN will increase.	1.Capacity Development Sheet (CD Sheet) 2.Interviews with people in the target areas	
Outputs 1. Environmental, natural resource, and socio-economic baseline data of the project area will be organized.	1. Prepare a report on environmental, natural resources and socioeconomic conditions of the communities involved in the project.	1. Study report	
2. Agroforestry and handy irrigation agriculture will be introduced suitably by the staff of FSF and SEMARN with a view to enhancing their awareness of forest conservation issues in general according to the Agroforestry and Handy irrigation agriculture Annual Plan formulated in the Project.	2-1.The forest area in the communities that adopt the handy irrigation system will increase by more than 110 ha. 2-2.The number of farmers who practice slash-and-burn agriculture will be reduced by more than 150 families. 2-3.Agroforestry will be practiced on more than 50 ha. 2-4.Existing technical manuals of agroforestry will be revised.	2-1.Project Progress Report 2-2.Interviews with the people in the target areas 2-3.Project Progress Report 2-4.Project Progress Report	
3. It will be possible for the staff of FSF and SEMARN to formulate a reforestation plan that addresses the needs of the villagers and to carry out activities and evaluation.	3-1.More than 110 ha will be reforested under the Reforestation Annual Plan 3-2.More than 175,000 fruit tree seedlings will be produced under the Seedling Production Plan. 3-3.Reforested Area Inventory will be prepared and updated using GIS.	3-1.Project Progress Report 3-2.Project Progress Report 3-3.Project Progress Report	
4. The system for forest fire prevention and control in the Project area will be strengthened.	4-1.More than 4 forest fire control units made up of local residents will be formed. 4-2.The action number of forest fire control units will increase by 40 % (compared with the number during the first year of the Project).	4-1.Final Progress Report 4-2.Final Progress Report	

Activities	Inputs		
1-1.To analyze and identify the conditions of natural resources and the socioeconomic situation of the 14 target villages. 1-2.To organize of categories of practices, problems, and initiatives taken by the beneficiaries (those who benefit from watershed management). 2-1.To analyze agroforestry systems that can be introduced in the ptoject area. 2-2.To conduct choice of target villagers and setting of demonstration sites for agroforestry through dialogue with the villagers. 2-3.To formulate agroforestry annual plan through dialogue with the villagers. 2-4.To provide technical assistance on agroforestry. 2-5.To obtain seedlings of fruit trees. 2-6.To revise the agroforestry technical manual. 2-7.To identify the areas with high potential for the practice of handy irrigation agriculture. 2-8.To formulate handy irrigation agriculture annual plan through dialogue with the villagers. 2-9.To facilitate consensus-building efforts among the parties involve in handy irrigation agriculture for forest conservation and to organize the irrigation groups. 2-10.To provide technical assistance on handy irrigation agriculture utilizing the revolving fund. 2-11.To prepare a manual for handy irrigation agriculture. 2-12.To analyze the impacts of the introduction of agroforestry and handy irrigation agriculture on forest conservation. 3-1.To formulate a reforestation annual plan in each village based on the needs of the villagers . 3-2. To produce and distribute plants after formulating the Seedlings Production Plan according to the Reforestation Plan. 3-3.To provide training activities for the villagers on reforestation techniques. 3-4.To monitor the reforested areas and manage the monitored data using GIS/GPS. 3-5.To promote the enlightenment and education of forestry conservation. 4-1.To analyze the frequency and causes of forest fires, as well as control systems for forests in the Project area. 4-2.To organize voluntary forest fire control units and to coordinate with the Forest Regional Office of Padre Las Casas in order to strengthen the forest fire control system. 4-3.To provide technical training to the voluntary forest fire control units. 4-4.To carry out promotional and educational activities on forest fire prevention.	<Dominican Republic Side> 1. Assignment of the C/P in every field 2. Assignment of support personnel 3. Assignment of local operation budget 4. Provision of a project office 5. Arrangement of office furniture, utilities, and communication facilities 6. Provision of facilities or necessary permissions for project implementation.	<Japanese Side> 1. Dispatch the experts: chief advisor / watershed management/forest fire, Participatory development/community organization/agroforestry, Handy irrigation agriculture, GIS 2. Provision of equipment: GIS/GPS, forest fire control equipment, communication facilities, vehicles, motorbikes 3. C/P training (including other countries): about two counterparts per year, as required	1. Dominican C/P will not be changed frequently. 2. The consignment contract concluded by the SEMARNs with the FSF will continue for 15 years or more. 3. Abnormal weather will not occur.

SECRETARÍA DE ESTADO
DE MEDIO AMBIENTE
Y RECURSOS NATURALES

"Año Nacional de la Promoción de la Salud"

620

Santo Domingo, D. N.
30 de octubre de 2008

Señora
Constanza Casanovas
Directora Ejecutiva Fundación Sur Futuro
Su Despacho.-

Distinguida Señora:

Cortésmente, le estamos remitiendo un ejemplar del "Acuerdo de Reforestación" entre la Secretaría de Estado de Medio Ambiente y Recursos Naturales (SEMARENA) y su institución, en original y firmado por ambas partes el día 13 de octubre del año en curso.

Reiterándole sentimientos de alta estima, le saluda,

Atentamente,

Ing. José Enrique Báez Ureña, M.Sc.
Director Plan Nacional Quisqueya Verde

Anexo: Acuerdo

JEBU/bf

ACUERDO DE REFORESTACIÓN ENTRE LA SECRETARÍA DE ESTADO DE MEDI AMBIENTE Y RECURSOS NATURALES (SEMARENA) Y LA FUNDACIÓN SU FUTURO, INC.

ENTRE:

La **SECRETARÍA DE ESTADO DE MEDIO AMBIENTE Y RECURSOS NATURALE (SEMARENA)**, Institución Estatal creada conforme a las Leyes de l República Dominicana, específicamente la Ley No. 64-00, Le General Sobre Medio Ambiente y Recursos Naturales, del 18 d agosto del 2000, debidamente representada por el Director del **PLA NACIONAL QUISQUEYA VERDE, ING. JOSÉ ENRIQUE BÁEZ UREÑA** dominicano, mayor de edad, Titular de la Cédula de Identida Personal y Electoral No. 011-1121803-8, domiciliado y residente e esta Ciudad de Santo Domingo, Distrito Nacional, quien actúa e nombre y representación del Secretario de Estado, en virtud de la facultades que le otorga el Decreto No. 467-08 de fecha cuatr (04) del mes de septiembre del año Dos Mil Ocho (2008), y de Poder de fecha veinticinco (25) del mes de septiembre del año Do Mil Ocho (2008), quien en lo que sigue del presente contrato s denominará **LA SEMARENA**; y

La **FUNDACION SUR FUTURO, INC.**, organización no gubernamental si fines de lucro, incorporada bajo el Decreto No. 72-02 del 29 d enero de 2002, con domicilio social en la ciudad de Santo Domingo debidamente representada por su Directora Ejecutiva, la Sra. **CONSTANZA MARGARITA CASANOVAS VILLEGAS**, dominicana, mayor de edad titular de la Cédula de Identidad y Electoral No. 036-00[illegible] domiciliado y residente en esta ciudad de Santo Domingo, Distrito Nacional, quien en lo que sigue del presente acuerdo se denominará LA FUNDACIÓN.

CONSIDERANDO: Que la Ley General Sobre Medio Ambiente y Recursos Naturales, No. 64-00, de fecha 18 de agosto del año 2000, crea **LA SEMARENA**, institución pública del Estado Dominicano, rectora d la gestión ambiental y los recursos naturales;

CONSIDERANDO: Que **LA SEMARENA** está comprometida con la política d Estado dirigida a promover la integración del Sector Privado a uso y manejo sostenible de los recursos naturales y establecer la alianzas estratégicas necesarias, para la unión de esfuerzos recursos tendentes a lograr un uso más eficiente de los mismos;

CONSIDERANDO: Que la Ley 64-00, en su artículo 18, numerales 10

promover, estimular y propiciar la integración de la organizaciones de la sociedad civil, comunitarias y r gubernamentales a los planes, programas y proyectos destinados la preservación y mejoramiento del medio ambiente;

CONSIDERANDO: Que es misión de **LA SEMARENA** incrementar l cobertura boscosa del país a través de programas de reforestació públicos y mediante el incentivo a la iniciativa privada;

CONSIDERANDO: Que **LAS PARTES** tienen como objetivo lograr, po medio del presente acuerdo, la reforestación de los terrenc ubicados en las comunidades Las Lagunitas y Las Cañitas en Padr Las Casas y, Los Fríos y Arroyo Cano en San Juan de la Maguana;

CONSIDERANDO: Que **LA SEMARENA**, está de acuerdo en la firma d convenios con otras instituciones para la ejecución de accione conjuntas, los cuales deben enmarcarse dentro de los principic siguientes:

a) Al establecer un Convenio o Acuerdo, **LA SEMARENA** no renunci ni traspasa ninguna de sus prerrogativas responsabilidades establecidas por las leyes, decretos otros instrumentos normativos del Estado Dominicano.

b) Los Convenios y Acuerdos son declaraciones de interés d colaboración mutua y bajo ninguna circunstancia sustituyen afectan los instrumentos legales y normativos superiores.

c) Los Convenios o Acuerdos sólo son válidos para los aspecto que en ellos se especifican, y no podrán ser utilizados par negociaciones o acuerdos con terceros, a menos que se expresamente establecido o autorizado por **LA SEMARENA**.

d) La firma de un Convenio o Acuerdo presupone un compromiso d respeto mutuo entre **LAS PARTES**, que implica la n participación de una de **LAS PARTES** en acciones que vayan e detrimento institucional o deterioro de la imagen y autorida de la otra.

VISTA: La Ley No. 64-00, Ley General Sobre Medio Ambiente Recursos Naturales, del 18 de agosto del 2000, que expresa en s artículo 159 que: *"Se incentivará y favorecerá el establecimient de plantaciones forestales comerciales con fines d aprovechamiento maderable, energético, industrial, alimenticio ornamental".*

POR TANTO: Y en el entendido de que el preámbulo anterior form parte integral del presente acuerdo:

LAS PARTES HAN CONVENIDO Y PACTADO LO SIGUIENTE:

PRIMERO: **LA SEMARENA**, dentro de sus planes y ejecutorias, po medio del presente acuerdo, acepta la propuesta de **LA FUNDACIÓN** para reforestar terrenos de los miembros de asociaciones d agricultores y agricultoras y demás comunitarios de la comunidades Las Lagunitas y Las Cañitas en Padre Las Casas y, Lo Fríos y Arroyo Cano en San Juan de la Maguana.

SEGUNDO: **LA SEMARENA** se compromete a suministrar:

1. Las plantas necesarias para la siembra y replantación d árboles en las fincas y parcelas, previamente seleccionada en común acuerdo con los propietarios de las mismas.

2. Los fondos correspondientes al pago de los obreros y obrera y al capatar por jornada de trabajo de ocho horas diarias.

3. Las herramientas (palas, puyones, machetes, limas) para la labores de reforestación a **LA FUNDACIÓN**.

TERCERO: **LA SEMARENA** hará las gestiones para que los propietario puedan obtener su certificado de plantación y derecho al corte aquellos terrenos que califiquen para tales fines.

CUARTO: **LA SEMARENA** se responsabiliza a transportar las plantula desde los viveros hasta el lugar cercano al sitio reforestación.

QUINTO: **LA SEMARENA**, se compromete a aportar los recurso financieros necesarios para las labores de supervisión, a garantizar la ejecución del presente acuerdo.

SEXTO: **LA FUNDACIÓN** se compromete a:

1. Plantar las especies que sean recomendadas de común acuerd entre el personal técnico de **LAS PARTES**.

2. Presentar un reporte quincenal de actividades con s correspondiente solicitud de pago para su aprobación po parte del personal Técnico de **LA SEMARENA**.

SECRETARÍA DE ESTADO
DE MEDIO AMBIENTE
Y RECURSOS NATURALES

"Año Nacional de la Promoción de la Salud"

3. Identificar e incorporar a las labores de reforestación a l propietarios de fincas y parcelas, que serán objeto labores de limpieza, preparación del terreno y plantación árboles.

4. Realizar las labores de preparación de los terrenos, previo la realización de las plantaciones, conforme a l recomendaciones que en ese sentido le brinde el person técnico de **LA SEMARENA.**

5. Cubrir los gastos de su personal técnico y administrativo q ejecute labores derivadas del presente convenio.

SÉPTIMO: **LAS PARTES** se comprometen a ejecutar un programa capacitación a agricultores y dueños de terrenos para cimentar l conciencia forestal de las comunidades Las Lagunitas y Las Cañit en Padre Las Casas y Los Fríos y Arroyo Cano en San Juan de l Maguana.

OCTAVO: **LAS PARTES** se comprometen a supervisar las plantacione establecidas y brindar la asesoría técnica necesaria para e desarrollo definitivo de las plantaciones.

NOVENO: La calidad de finca forestal de los terrenos sometid reforestación, mediante el presente convenio, deberá mante independientemente de que éstos sean enajenados, transfer cedidos bajo cualquier modalidad de lícito comercio.

DÉCIMO: Queda expresamente establecido que el presente conve crea vínculo de dependencia y/o subordinación entre **LAS PARTES.**

DÉCIMO PRIMERO: Para lo no previsto en este convenio, las par se remiten a las normas que establece el derecho común.

DÉCIMO SEGUNDO: **LAS PARTES** acuerdan que los bosques que s establezcan en virtud del presente convenio, quedarán sujetos e el presente y en lo porvenir, a los procedimientos fijados en l legislación forestal y ambiental vigente o que se establez posteriormente.

PARRAFO.- **LA FUNDACIÓN**, se compromete ante **LA SEMARENA** a cumplir hacer cumplir la Ley General sobre Medio Ambiente y los Recurs Naturales No. 64-00, del 18 de agosto del 2000, Reglament Forestal, Normas Forestales, y demás disposiciones ambientales.

SECRETARÍA DE ESTADO
DE MEDIO AMBIENTE
Y RECURSOS NATURALES

"Año Nacional de la Promoción de la Salud"

VERDE

HECHO DE BUENA FE en dos (2) originales, uno para cada una de **LA PARTES**. En la ciudad de Santo Domingo, Distrito Nacional, capita de la República Dominicana, a los Trece (13) días del mes d Octubre del año Dos Mil Ocho (2008).

POR LA SEMARENA

Ing. José Enrique Báez Ureña
Director del Plan Nacional
Quisqueya Verde

POR LA FUNDACIÓN

Sra. Constanza Casanovas
Directora Ejecutiva
Fundación Sur Futuro, Inc.

Yo FABIAN LORENZO MONTILLA, Notario Público de los del Número del Distrito Nacional, **CERTIFICO Y DOY FE:** Que por ante mí comparecieron libre y voluntariamente los señores: **ING. JOSI ENRIQUE BÁEZ UREÑA** y **SRA. CONSTANZA MARGARITA CASANOVAS VILLEGAS**, de generales y calidades que constan, quienes me han declarado bajo la fe del juramento que las firmas que anteceden son las mismas que acostumbran a usar en todos los actos, tanto públicos como privados, por lo que merecen entera fe y crédito. En la ciudad de Santo Domingo, Distrito Nacional, Capital de la República Dominicana, a los Trece (13) días del mes de Octubre del año Dos Mil Ocho (2008).

NOTARIO PÚBLICO

LIC. FABIAN LORENZO MONTILLA
ABOGADO NOTARIO PÚBLICO
DISTRITO NACIONAL, R. D.

COMITÉS DE AGRICULTURA BAJO RIEGO DE LAS COMUNIDADES DE PERIQUITO Y LOS NARANJOS

FECHA 22/08/2

SR. Sandino Arias

MUY CORTÉSMENTE NOS DIRIGIMOS A USTED CON LA FINALIDAD SOLICITARLES FORMALMENTE NOS CEDA EL PERMISO PARA EL PASO POR SU FIN DE LAS TUBERÍAS DEL SISTEMA DE RIEGO QUE IRRIGARA LOS TERRENOS NUESTRAS COMUNIDADES. PARA NOSOTROS ES MUY IMPORTANTE QUE USTED N APRUEBE ESTA SOLICITUD Y ASÍ ESTARÍA CONTRIBUYENDO CON EL DESARROL SOCIAL Y ECONÓMICO DE LAS COMUNIDADES DE PERIQUITO Y LOS NARANJOS, Q TANTO HEMOS ANHELADO A TRAVÉS DE LOS TIEMPOS

PARA SU CONOCIMIENTO ES DE INTERÉS INFORMARLES QUE EL PASO DE TUBERÍA POR SU FINCA NO LO AFECTARA EN NADA PORQUE PRETENDEMOS Q DICHA TUBERÍA ESTE EN SU MAYOR PARTE ENTERRADA Y QUE SOLAMENTE EN L LUGARES DONDE ESTO SEA IMPOSIBLE ESTARÍA SUPERFICIAL.

EN ESPERA DE PODER CONTAR CON SU ACOSTUMBRADA COLABORACIÓN

SE DESPIDEN.

MUY ATENTAMENTE:

Prof:

COMITÉ DE AGRICULTURA BAJO RIEGO DE LA COMUNIDAD DE LOS NARANJOS

COMITÉ DE AGRICULTURA BAJO RIEG DE LA COMUNIDAD DE PERIQUITO

Sandino Arias

APROBACIÓN Y FIRMA DEL PROPIETARIO

Acuerdo en ofrecer la parcela para el tanque.

Nombre: Joaquin Luciano

Comunidad: Los Naranjos

El abajo firmante, Sr./Sra. Joaquin Luciano estoy de acuerdo en ofrecer mi parcela mostrada en los dibujos adjunto para ser utiliz para poner el tanque libre de cargo, yo le permitire al comité usar mi parcela para el tanque hasta que el comité disuelva este acuerdo.

Firma

Fecha 27-10-2006

Lider del comité

Nombre: Joaquin Luciano

Firma:

Fecha: 27-10-2006

Acuerdo Sobre Parcela (Propietario)

Nombre: José Altagracia Luciano

Comunidad: Los Naranjos

Propiedad: 10 tareas

El abajo firmante, Señor José Altagracia Luciano estoy de acuerdo en c
mi parcela mostrada en el mapa adjunto a los agricultores, firmando debajo y
utilizo una de mi parcela para el sistema de riego sencillo.

La persona la cual esta ofrecuiendo ofreco

1. José Altagracia Luciano :Tareas 10 :Firma

2. Américo Valenzuela : Tareas 10 :Firma

3. _____ : Tareas _____ :Firma

4. _____ : Tareas _____ :Firma

5. _____ : Tareas _____ :Firma

6. _____ : Tareas _____ :Firma

7. _____ : Tareas _____ :Firma

Firma _____

Fecha

Acuerdo sobre instalación de sistemas de riego en Naranjos

Fecha : 17 / 07 / 2006

Nombre : José Alejandro

Firma :

1 **Ejecución de reforestación**

¿El productor(a) se compromete a reforestar en área de protección como incentiv por la instalación de sistema de riego en su terreno agrícola?

((Sí) No)

2 **Abandono de la quema agrícola**

¿ El productor(a) se compromete a abandonar la quema agrícola como supuesto c introducir sistema de riego en su terreno agrícola ?

((Sí) No)

3 **Organizar el comité de agricultura bajo riego(nombre provisional)**

¿El productor(a) se compromete organizar el comité de agricultura bajo riego con lo demás participantes?

((Sí) No)

4 **Utilización de terreno agrícola bajo riego**

¿El productor(a) se compromete a respetar y cumplir la propuesta sobre utilizacić de terreno bajo riego formulada por el comité ?

((Sí) No)

5 **Consecución de permiso sobre toma de agua y colocación de tubería**

¿El productor(a) se compromete a participar en apoyo al comité en la consecución c los permiso sobre toma de agua y colocación de tubería ?

((Sí) No)

6 **Prestación de mano de obra para instalación del sistema de riego.**

¿El productor(a) se compromete a ofrecer sus servicios lo necesario para instalación de sistema de riego, según el plan de trabajo elaborado por el comité

((Sí) No)

7 **Participación en la brigadas de bombero forestal**

¿El productor(a) se compromete a participar en las brigadas de bombero forest que organiza el comité ?

((Sí) No)

8 Fondo Rotatorio

8－1 ¿El productor(a) se compromete a devolver a la Fundación Sur Futuro el costo de materiales y equipos invertido para la instalación del sistema de riego ?

(Sí No)

Suma de restitución＝Costo de materiales × Superficie de su terreno de riego ÷ Superficie total de terreno de riego

8－2 ¿El productor(a) se compromete a aceptar a la Fundación Sur Futuro como la institución que decidirá método de devolución del costo de los materiales y equipos del proyecto ?

(Sí No)

9 Utilización y mantenimiento sostenible del sistema de riego

¿El productor(a) se compromete a usar y mantener el sistema según los reglamentos elaborado por el comité ?

(Sí No)

1 0 Medidas a tomar en caso de incumplimiento de los beneficiarios del proyecto.

¿El productor(a) se compromete a participar en la soluciones de los problemas y aceptar las medidas aplicadas, según los reglamentos elaborado por el comité ?

(Sí No)

1 1 Apoyo de el Proyecto

¿El productor(a) se compromete a recibir apoyo en cuanto a recomendaciones y asesoria tecnica por el proyecto ?

(Sí No)

Confirmación

1 — 2 ¿La superficie a reforestar cuantas veces será mayor a la superficie de terr bajo riego ?

Aproximadamente (1) veces más

1 — 3 ¿Cuánto años necesita para cumplir su meta de reforestación ?

Aproximadamente (1) años

1 — 4 ¿En que lugar tiene intención de reforestar ?

(Su terreno Terreno ajeno Terreno comunal Área de protecc Otros)

1 — 5 ¿Qué especies quiere para plantar?

(Especies maderable Especies para leña Especies multiuso Espec medicinales Especies ornamental Otros)

2 — 2 ¿Desde cuando puede abandonar cultivo por quema ?

(1er) años después de inicio de cultivo con riego

Reglamento de la Asociación de Productores Bajo Riego de Periquito

La organización que ha sido establecida en el municipio Padre las Casas en la provinci Azua con el apoyo de este proyecto en la fecha de 31 de Julio del 2006 será denomi Asociación de Productores Bajo Riego de Periquito. La Asociación es una organiza voluntaria formada por los miembros que cumplen los requisitos del Artículo 7.

Capítulo 1 Comité de Agricultura Bajo Riego

Artículo 1: La asociación se establece para utilizar adecuadamente y mantener de forma sosteniblemente las facilidades instaladas con apoyo del proyecto para la agricultura Bajo Riego.

Artículo 2: La Asociación está formado (as) por los productores que trabajan en el área Proyecto bajo riego.

Capítulo 2 Comité Ejecutivo

Artículo 3: La Asociación elije una directiva que recoleta las informaciones necesaria pa instalación, uso y mantenimiento de las facilidades, negocio con otras organizacio diseñar y poner en práctica el plan de trabajo en representación de la Asociación.

Artículo 4: La directiva se compone de la forma mostrada a continuación. Los miembro directiva serán electos por votación de los miembros en la Asamblea General qu señalan en los Artículos 5 y 6, realizando sus labores bajo la aprobación de la Asam General. Cada miembro del Comité Ejecutivo tendrá un mandato de 2 años.

Presidente (1 persona)
Sec.Organización (1 persona)
Enc.Finanza (1 persona)
Sec.Actas (1 persona)
Enc.Disciplina (1 persona)
1er vocal
2do vocal

Responsabilidades los miembros del Comité Ejecutivo:

a) Presidente
Llevar a cabo la negociación exterior como representante de la Asociación, ad dirigir y coordinar las acciones de la Asociación.

b) Sec.Organización
Asistir al presidente en los trabajos y/o acciones que lleve a cabo la asociación..

c) Enc.Finanza
Se encarga de la sección de contabilidad de la Asociación.

d) Sec.Actas
Anota y monitorear todas las actividades de la Asociación.

e) Enc.Disciplina

Se encarga de cumplir y hacer cumplir los reglamentos establecidos y de aplica sanciones.

f) 1er Vocal

Asiste al presidente y al encargado/a de organización en las acciones que lleve a la asociación.

g) 2do Vocal.

Asiste a cualquier miembro de la directiva en las acciones que lleve a cab organización.

Capítulo 3 Junta General

Artículo 5: Habrá una Asamblea General constituida por todos los miembros de la Asocia para decidir sobre los asuntos previstos.

Substitutos
La Junta General tendrá por regla la participación de todos los/as miembros/as c asociacion, sin embargo, se permite que en lugar de un tercio de los participante presenten substitutos o que presenten una carta de excusa y poder (delegación).

Artículo 6: El Presidente celebra la Asamblea General el último domingo de cada año e mes de Julio. Los miembros de la Asociación en la Junta General periódica examin aprueban la enmienda del reglamento, la evaluación de proyectos del periodo anteri plan de proyectos del periodo nuevo, el presupuesto del periodo anterior y presupu

del periodo nuevo, la elección de los miembros del Comité Ejecutivo, el retir miembros, el ingreso de miembros nuevos y otros asuntos importantes.

Junta General extraordinaria

En caso de que el Comité ejecutivo juzgue la necesidad, o que más de dos terc los miembros de la Asociación lo soliciten, se celebrará una Junta Ge extraordinaria. Los miembros de la asociación examinarán y aprobarán los asu más importantes y más urgentes.

Capítulo 4 Miembros del Comité de Agricultura Bajo Riego

Artículo 7: Serán miembros las personas que sean aprobadas por la Junta General (Asociación cumpliendo con las normas de selección de miembros de la Asoci establecidas por la Junta General de la Asociación de Agricultura Bajo Riego.

Normas de selección de miembros

a) Agricultores.
b) Propietario(a) de terreno en la comunidad.
c) Habitante de la comunidad.
d) Mayor de edad.
e) Propietarios de terrenos que no viven en la comunidad que apoyan y trabajan (en y por los proyectos.

Artículo 8: Los miembros tienen derecho de utilizar las facilidades de la agricultura riego.

Artículo 9: Los miembros tienen que ejecutar las responsabilidades establecidas pc Asociación de Agricultura Bajo Riego.

Artículo 10: Los miembros no pueden transferir sus derechos de utilización de las facilidac otras personas, sin la autorización de la directiva y la asamblea general.

Retiro y nuevo ingreso de los miembros

a) Para retirarse o ingresar a la Asociación de Agricultura Bajo Riego es neces la aprobación de la Asamblea General, compuesta por todos los miembro la asociación.
b) En caso de retiro se puede solicitar el reembolso del Fondo de Giro pagado a la Asociación de Agricultura Bajo Riego.

c) La Asociación de Agricultura Bajo Riego puede pagar a la persona retirad el Fondo de Giro pagado por los miembros nuevos. En caso de retiro volur de un miembro la Asociación solo le devolvería el dinero de las cuotas pa no asi las cuotas pagadas para el fondo rotatorio.
d) En caso de conflictos entre el propietario y el acentado la directiva y todo miembros de la Asociación evaluaran la situación, y de ser necesario el retir acentado el propietario tendria la obligación de pagarle los honorarios fruto trabajo en el proyecto mas las cuotas pagadas si el sistema de riego queda su parcela.
e) El Socio que falte 3 veces consecutivas pierde el derecho de ser Socio.
f) Será retirado sin derecho a usar las facilidades de la agricultura bajo cualquier miembro/a sin distinción, que agrediese física o verbalmente a miembro/a de la asociación o colaboradores y financiadores externos.

Capítulo 5 Responsabilidad de los Miembros

Artículo 11: Los miembros son responsables de usar las facilidades eficientemente, mantenerlas y repararlas, de manera sostenible.

Gastos por inspección periódica, mantenimiento y reparación de las facilid de riego

a) Los miembros tienen la obligación de participar en la inspección periódic las facilidades del riego (línea matriz e instalaciones).
b) Los miembros son responsables de cargar con los gastos necesarios mantenimiento y reparación de las facilidades del riego.

Artículo 12: Los miembros son responsables de realizar lo siguiente según el contenido proyecto establecido al instalar las facilidades de riego.

Responsabilidades de los miembros

a) Ofrecer sus servicios para la instalación y reparación de las facilidades riego.
b) Realizar reforestación con las Plantas recibidas del proyecto, d mantenimiento en los primero dos años y cuidarla de incendios e animales
c) Dejar de hacer tumba y quemas de Agricultura.
d) Participar en la brigada de bomberos forestales.
e) Resembolsar el Fondo Rotativo a la Fundación Sur Futuro

f) Velar por el cuidado y protección de las áreas boscosa en la cu especialmente en el arroyo que supliría el agua para irrigar las parcelas la comunidad.

Capítulo 6 Funciones y responsabilidades la directiva.

Artículo 13: la directiva realiza las siguientes operaciones para que los miembros utilice facilidades del riego eficientemente y sosteniblemente.

Planeamiento y realización del plan de utilización de las facilidades del r

a) Coordinar el horario de utilización de agua para el riego.
b) Colectar y ofrecer a los miembros información de manejo de agricultura riego y el apoyo de financiadores externos.
c) Colectar y ofrecer a los miembros informaciones de precio de los prod en el mercado.

Artículo 14: La directiva realiza coordinaciones que garanticen la operación de mantenim y reparación de las facilidades de la agricultura bajo riego.

Planeamiento de mantenimiento, reparación y recaudación del gasto reparación

a) Planear y realizar el mantenimiento y reparación.
b) Recaudar entre los miembros los fondos necesarios para los gastos mantenimiento, reparación y desembolsarlos.
c) Procurar y garantizar el cuidado de la línea matriz, la cual debe manter intacta hasta llegar al o los reservorios de almacenamiento de agua.

Artpículo 15: El Comité Ejecutivo realiza las siguientes operaciones para apoyar a miembros para que cumplan con sus responsabilidades.

Planeamiento y reembolso del Fondo Rotativo

a) Elaborar y llevar a cabo el plan de colaboración en las labores necesarias la instalación de las facilidades de riego respondiendo a las expectativas proyecto.
b) Ordenar los planes de reforestación que preparan los miembros y entregarl proyecto.
c) Informar sobre la situación de abandono de la tumba y quemas por parte de miembros respondiendo a las expectativas del proyecto.
d) Organizar brigada de bomberos forestales.
e) Recaudar el Fondo Rotativo que resembolsan los miembros y pagarlo

Fundación Sur Futuro.

Capítulo 7 Medidas en caso de que los Miembros no pueden cumplir co sus deberes

Artículo 16: Tomar medidas por medio de otras reglas en el caso de que el miembro no p cancelar el gasto necesario para mantenimiento y reparación y/o no pueda rembols Fondo Rotativo.

Artículo 17: Tomar medidas por medio de otras reglas en el caso de que el miembro no p ayudar en la instalación, mantenimiento y reparación de las facilidades del riego.

Artículo 18: Tomar medidas por medio de otras reglas en caso de que el miembro no p realizar la reforestación necesaria.

Artículo 19: Tomar medidas por medio de otras reglas en caso de que el miembro no ingr la brigada de bomberos Forestales.

Artículo 20: Tomar medidas de otras reglas en caso de que los miembros no dejen de h quemas en su campo de cultivo.

Artículo 21: Tomar medidas por medio de otras reglas en caso de que los miembro: obedezcan el horario establecido del uso del agua para riego.

Capítulo 8 Medidas en caso de que ocurra un conflicto

Artículo 22: Todos los conflictos que aparezcan en la Agricultura Bajo Riego se Solucio oficialmente con Participación de todos los miembros.

Capítulo 9 Cooperación del proyecto y de la Fundación Sur Futuro

Artículo 23: Las actividades de la Asociación de Agricultura Bajo Riego se realizaran co ayuda del Proyecto y la Fundación Sur Futuro

Reglamento Detallado

Articulo1. Los miembros abastecen al Comité Ejecutivo de gastos de Tabla 1. S le atrasa de pago más los de un año sin justo, la Asociación de agricultura riego puede detener derecho de los miembro sobre utilización de las facilid: de la agricultura bajo riego.

Tabla 1

Tarifa de toma de agua	20 (Pesos/tas.Anual) x Superficie de utilización de terreno bajo riego.
Fondo para mantenimiento de sistema de riego	50 (Pesos/tarea.6meses)

La razón justa

- Sin cosecha por causa de catástrofe natural etc.
- Sin cosecha por causa de herida, enfermedad o muerte del beneficiario y/o miembro de su familia.

Si tiene la razón justa comité ejecutivo debe negociar con el INDRHI y la Junt: Regantes lo relacionado sobre prórroga de pago de tarifa por uso de agua p riego.

Articulo2. Los miembros reembolsan el fondo Rotativo a la fundación Sur Fut atravez del Comité Ejectivo en el plazo de @ años (La cuota tiene interés anual @ por cientos). Si un miembro o beneficiario se atrasa en el pago de cuota sin ra justificada. La Asociación de agricultura bajo riego puede suspender el uso de facilidades de riego, hasta que el beneficiario cumpla con el pago correspondier

Tabla 2

La cuota de Fondo Rotativo	Suma total de costo de materiales (Pesos)/ Superficie total dc bajo riego (Tareas) x Superficie de terreno utilizado bajo riego (Tareas).

MEDIDAS EN CASO DE ATRASO EN EL PAGO DE CUOTA POR RAZO
DE :

- Sin cosecha por causa de catástrofe natural etc.
- Sin cosecha por causa de herido o enfermeda de el miembro y/o su familia.

Si tiene la razón justa, Comité Ejecutivo debe negociar con la Fundación Futuro sobre prórroga de pago de cuota

Articulo 3. Los miembros ofrece mano de obra para instalación del sistem riego segun el plan que se elabora por Comité Ejecutivo por pedido del proyect desatiende oferta de servicio sin razón justa, el miembro debe pagar pesos/dias para la multa de incumplimiento al Comité Ejecutivo.
(La razón justa de cambio de un miembro, El Comité Ejecutivo cumplirá co responsabilidad).

- Por causa de herido enfermedad o muerte de el miembro y/o su familia.

Articulo 4. Los miembros ofrecen sus servicios para revisión y mantenimient sistemas de riego segun el plan que se elabora por el Comité Ejecutivo.
Si desatiende de ofrece servicio sin razón justa, el miembro debe pagar @ pesos para la multa de incumplimiento a El Comité Ejecutivo (cambio de el miem Comité Ejecutivo cumplirá sus responsabilidad).
La razón justa

- Por causa de herida, enfermedad, o muerte del miembro y/o su familia.

Articulo 5. Los miembros ejecutan las plantaciones de árboles el cuidad mantenimiento según acuerdo dentro del tiempo fijado acordado con el proyect Si incumple el responsable de la reforestación sin razón justa, el miembro d pagar @ pesos/Tarea plantación @ peso/Tarea en caso de cuidado a El Con Ejecutivo (En caso del miembro abandonar la responsabilidad de reforestac El Comité Ejecutivo lo cumple).
La Asociación acordo hacer reforestación en tiempo de lluvia y el socio que cumpla debe pagar 300 pesos de multa por dia.
La razón justa

- Por causa de herido enfermedad, o muerte del miembro y/o su familia.

Si tiene la razón justa, El Comité Ejecutivo debe negociar con el proyecto so prorrogación de la reforestación.

Articulo 6. Los miembros entran en la brigada de bombero forestal y particip el entrenamiento y según acuerdo del proyecto. En caso de rechaso de ent en la brigada, la Asociación de Agricultura bajo riego puede detener el derech los miembro sobre utilización de las facilidades de la agricultura bajo riego caso de no participar en el entrenamiento sin razón justa Comité Ejecutivo pedir 300 pesos/dia como la multa utilizada para prevención de incer forestales en la comunidad.

La razón justa

- Por causa de herida, enfermedad, o muerte del miembro y/o su familia

Articulo 7. Los miembros abandona la agricultura de tumba y quema duran tiempo fijado segun acuerdo con el proyecto.

Si la continua pasando el tiempo fijado, la Asociación de Agricultura bajo r debe y podrá suspender derecho de los miembro a usar las facilidades de riego

Articulo 8. los miembros utilizan el sistema de riego segun el plan de utilizació sistema de riego que se elabora por Comité Ejecutivo. Si lo utiliza en hora fuer definición sin razón justa, Comité Ejecutivo puede pedir la multa cada vez de Pesos al miembro (La multa utilizada para revición y mantenimiento de sist de riego).

La razón justa

- En caso de aparición de plaga y enfermedades de repente.

Ser. Manuel de Jesús Corcino
Presidente.
Asociación de Productores Bajo Riego Nuestra Señora de Las Mercedes de Periquito